

# FY2025 FINANCIAL RESULTS

2025年3月期 決算説明資料 2025.5.21

株式会社フェイスネットワーク  
( 東証スタンダード市場：3489 )



# COMPANY PHILOSOPHY



我々は一人一人の夢の実現をサポートする  
ワンストップパートナーであり続けます

「Face ( Faith ) to Face」一人ひとりのお客様を大切に  
人と人のつながりから生まれる信頼

「信頼」の「ネットワーク」を深く広げて、お客様の夢の実現へ  
Faith Network

## 事業推進の根本的な考え方は「オーナー保護」

長期的に安定した収益が得られる物件であること  
入居需要が常にある物件であること

“入居者視点にこだわるモノづくりの会社”

 **FAITH NETWORK**

——— こだわりのモノづくりを実現するビジネスモデル ———

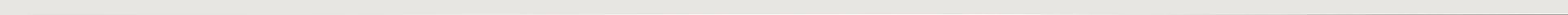
新築一棟RCマンション  
(GranDuo シリーズ)



城南3区  
(世田谷区・目黒区・渋谷区)



ワンストップ  
サービス



01

新築一棟RCマンション  
(GranDuo シリーズ)  
グランデュオ

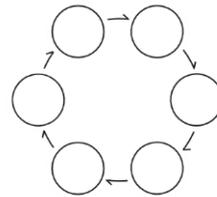


- ・独自のデザイン性と居住性の両立
- ・優れた耐久性、耐震性、遮音性
- ・鉄筋コンクリート造(RC造)

長期にわたって物件価値が  
維持できるパッケージ

02

ワンストップ  
サービス

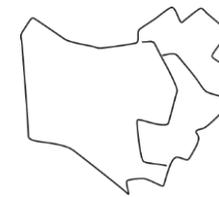


- ・中間マージンの排除
- ・スピードと精度を高めた仕入物件獲得力
- ・高い業務連携による高品質な設計・施工

土地の仕入から設計・施工・販売・賃貸  
募集・物件管理まで全て自社内で完結

03

城南3区  
(世田谷区・目黒区・渋谷区)



- ・都心に近く利便性の高い好立地
- ・人気の街が多く通年の入居需要あり
- ・投資対象としての割安感

好立地が長期安定的な  
収益性確保を実現

- 1.** | 2025年3月期 決算概要
- 2.** | 中期経営計画「NEXT VISION 2026」目標数値修正について
- 3.** | 2026年3月期 業績予想



# FINANCIAL RESULTS

2025年3月期 決算概要

## 2025年3月期 決算トピックス

売上・利益  
過去最高を更新

売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する  
当期純利益が過去最高を更新

売上総利益率  
大幅に改善

物件価値向上の取り組みが奏功し、売上総利益率が  
24.3%に上昇

株主還元  
大幅増配

4期連続増配  
1株あたり配当98.5円（前期比+53.5円増配）

## 2025年3月期 決算トピックス

売上・利益 過去最高を更新

金融機関等との連携強化による紹介顧客を中心に販売が好調に推移するとともに、従前から推進してきた物件価値向上の取り組みが奏功し、売上高、段階利益が過去最高を更新

連結売上高

**299**億 **15**百万円

期初計画比

△**9.3**%

前期比

+ **34.2**%

連結経常利益

**41**億 **6**百万円

期初計画比

+ **2.7**%

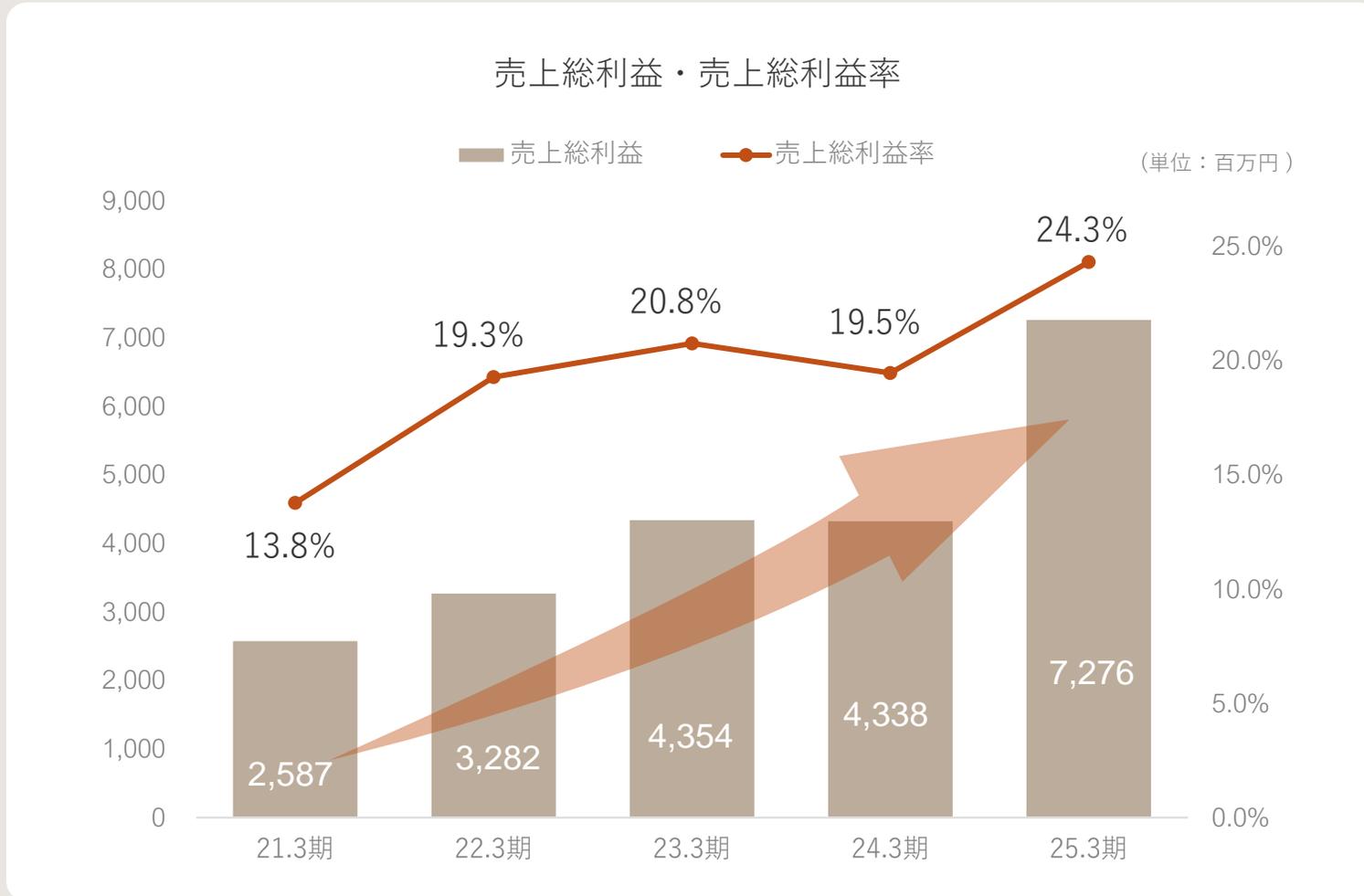
前期比

+ **130.1**%

## 2025年3月期 決算トピックス

売上総利益率 大幅に改善

Well-Beingな体験価値の導入や空間デザインの工夫など物件価値向上の取り組みが奏功し、売上総利益率が大幅に改善



※2024年3Q決算より連結決算を開始したため、2024年3月期以降は連結数値

## 2025年3月期 決算トピックス

### 株主還元 大幅増配

利益額が大幅に改善し、期初の計画を上回ったことにより、前期より+53.5円、期初計画より+2.5円の増配

#### 1株あたり配当

2024年3月期実績

45.0円

前期比 +53.5円

2025年3月期予想

98.5円

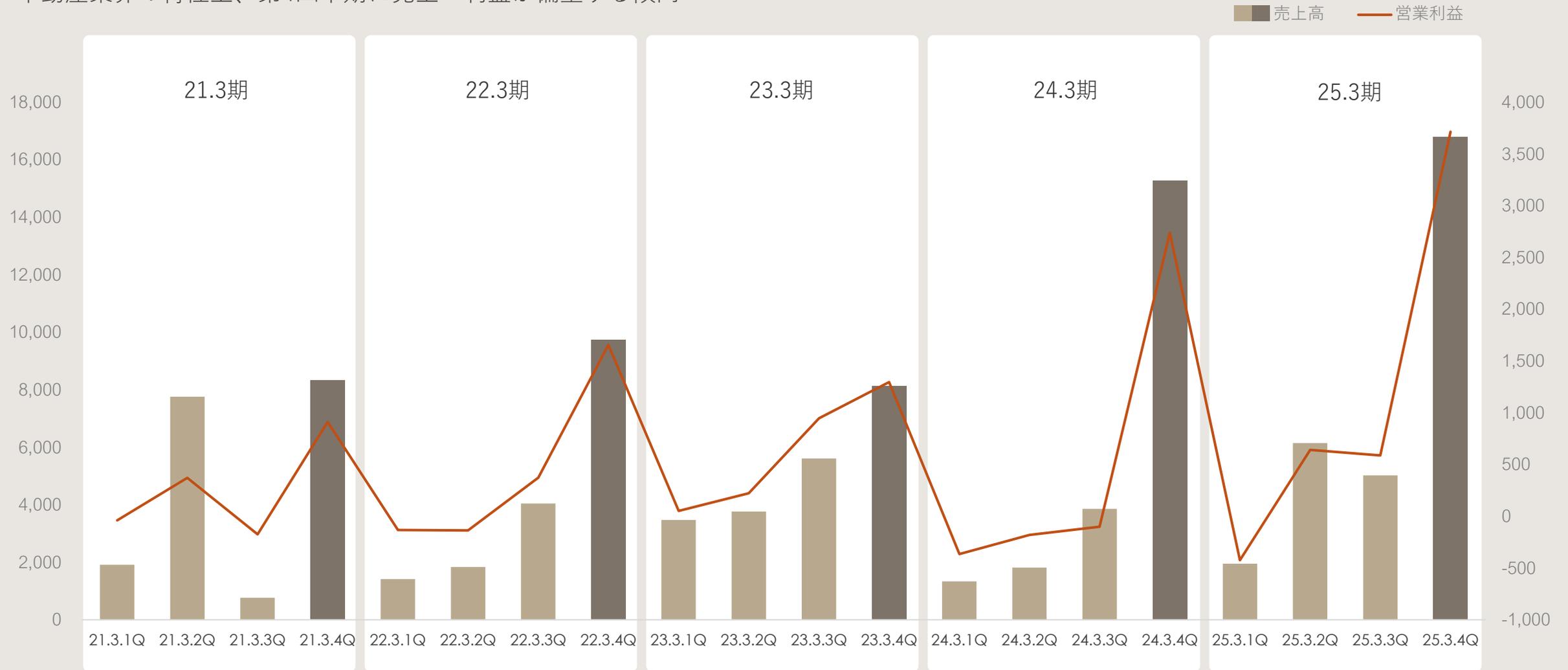
## 2025年3月期 連結損益サマリー

(百万円)

	24.3期 実績	25.3期 実績	増減額	増減率
売上高	22,284	29,915	7,631	34.2%
営業利益	2,090	4,519	2,428	116.2%
営業利益率	9.4%	15.1%	—	
経常利益	1,784	4,106	2,322	130.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	943	2,769	1,826	193.6%
一株当たり 当期純利益	95.59円	280.42円	184.83円	

## Q別損益推移

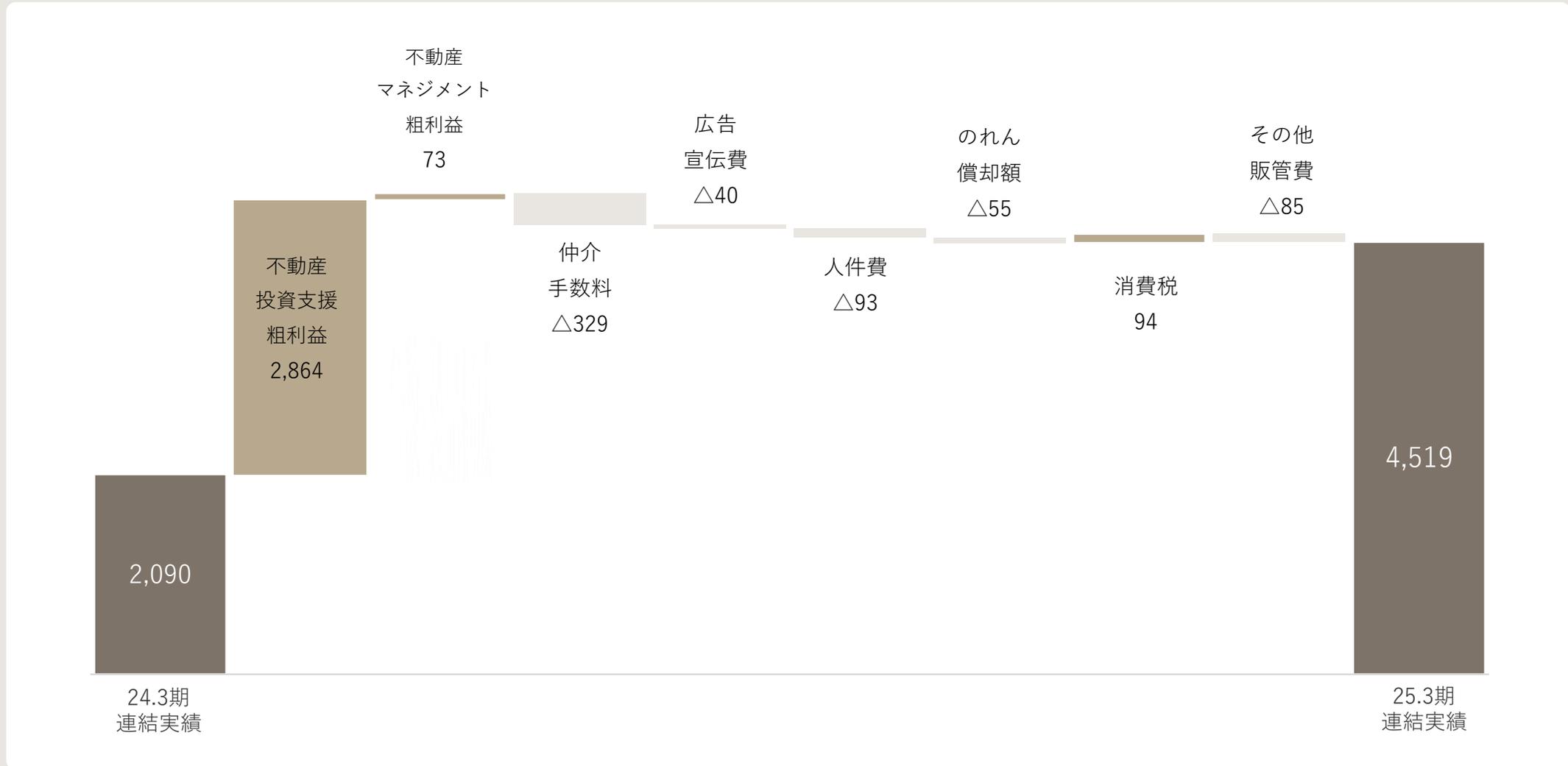
不動産業界の特性上、第4四半期に売上・利益が偏重する傾向



※2024年3Q決算より連結決算を開始したため、2024年3月期以降は連結数値

## 2025年3月期 連結営業利益増減要因

売上の増加に伴う仲介手数料の増加、人員増による人件費の増加



## 2025年3月期 連結B/Sサマリー

(百万円)

	24.3期末	25.3期末	増減額
流動資産	23,215	26,394	3,178
固定資産	3,394	3,641	247
資産合計	26,609	30,036	3,426
流動負債	7,869	6,795	△1,073
固定負債	11,308	13,475	2,166
負債合計	19,177	20,271	1,093
純資産	7,431	9,765	2,333
負債純資産 合計	26,609	30,036	3,426

開発用地の仕入推進による仕掛販売用不動産の増加  
好調な販売による販売用不動産の減少

仕掛販売用不動産	+4,094百万円
販売用不動産	△2,863百万円
現金及び預金	+3,538百万円
完成工事未収入金	△1,517百万円

自社保有用建物・土地の取得、子会社株式引受に伴う増加  
投資有価証券の減損

建物・土地	+462百万円
投資有価証券	△68百万円
のれん	△111百万円

借入金返済に伴う減少

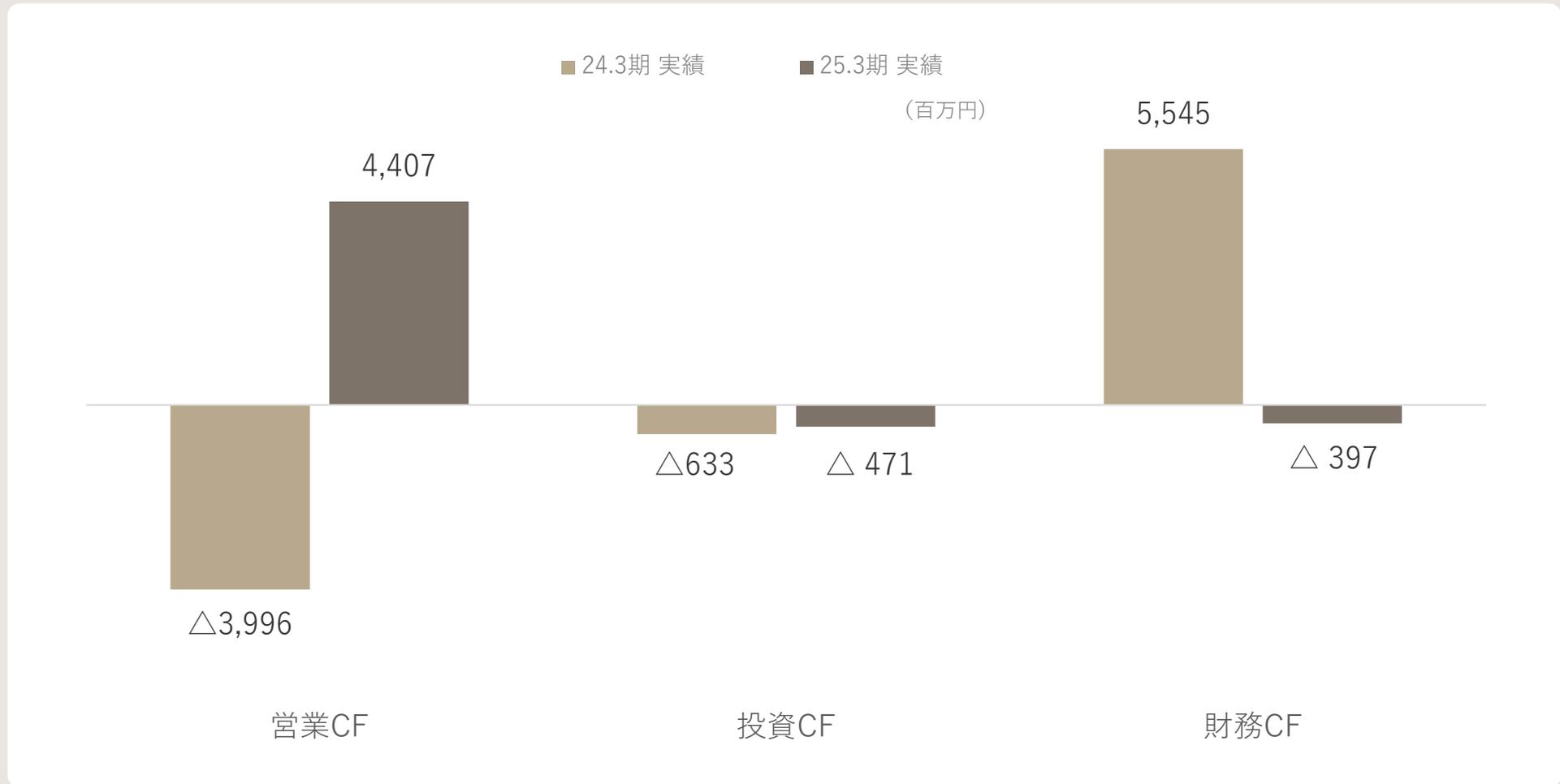
1年内返済長期借入金	△1,957百万円
前受金	△647百万円
未成工事受入金	+458百万円
未払法人税等	+1,073百万円

用地仕入に伴う借入金の増加

長期借入金	+2,165百万円
-------	-----------

## 2025年3月期 連結決算 C/F

好調な販売により営業C/Fが増加



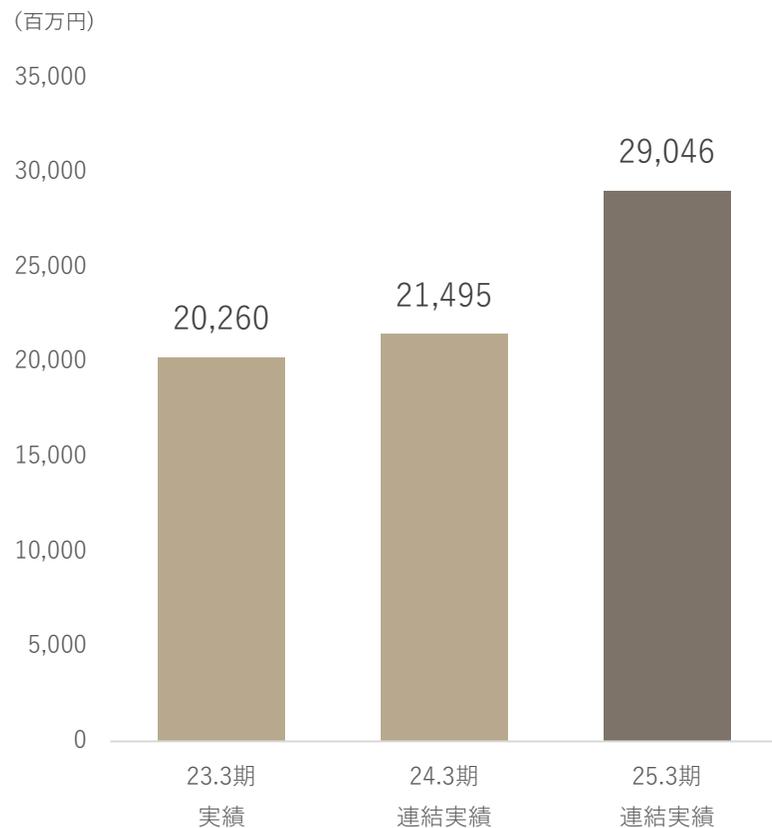


## 不動産投資支援事業

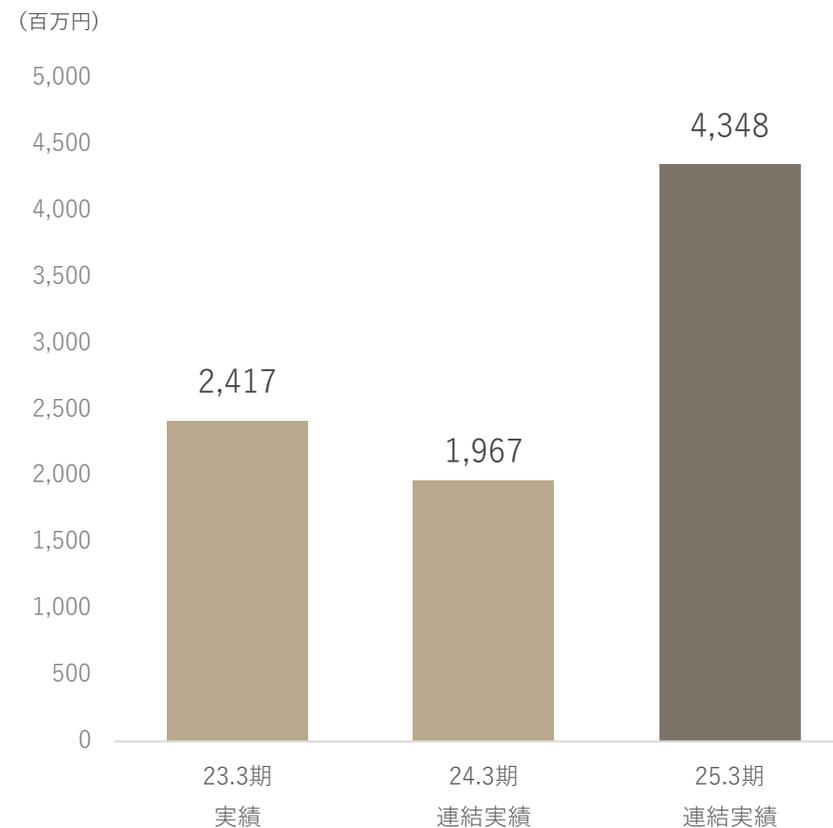
不動産商品 **21** 件販売、建築商品 **7** 件販売

竣工物件平均販売単価 **12億 21** 百万円

### 売上高



### セグメント利益



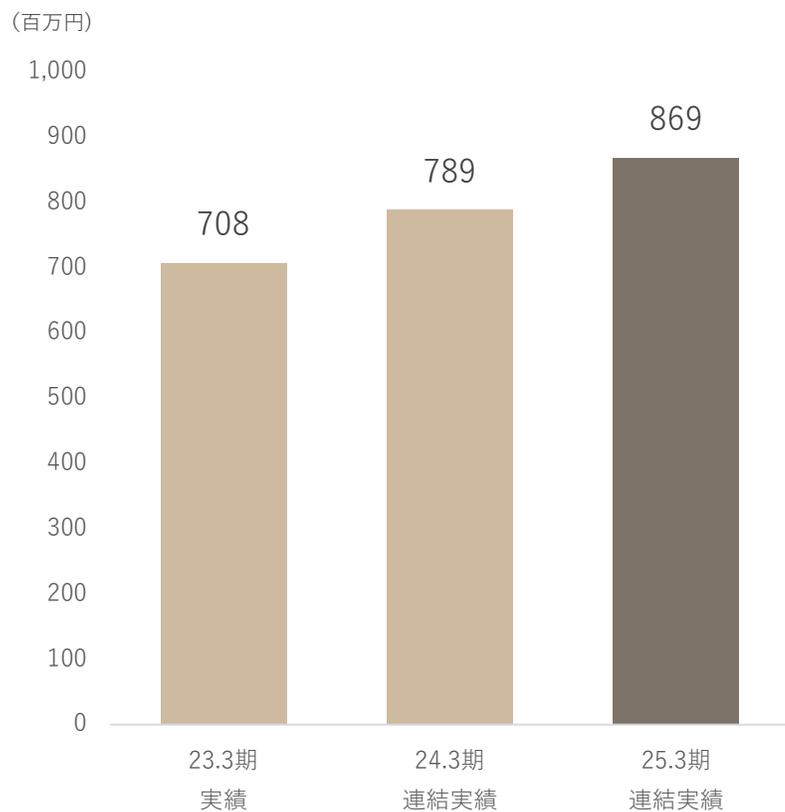
不動産投資支援事業 [ 竣工物件 ]



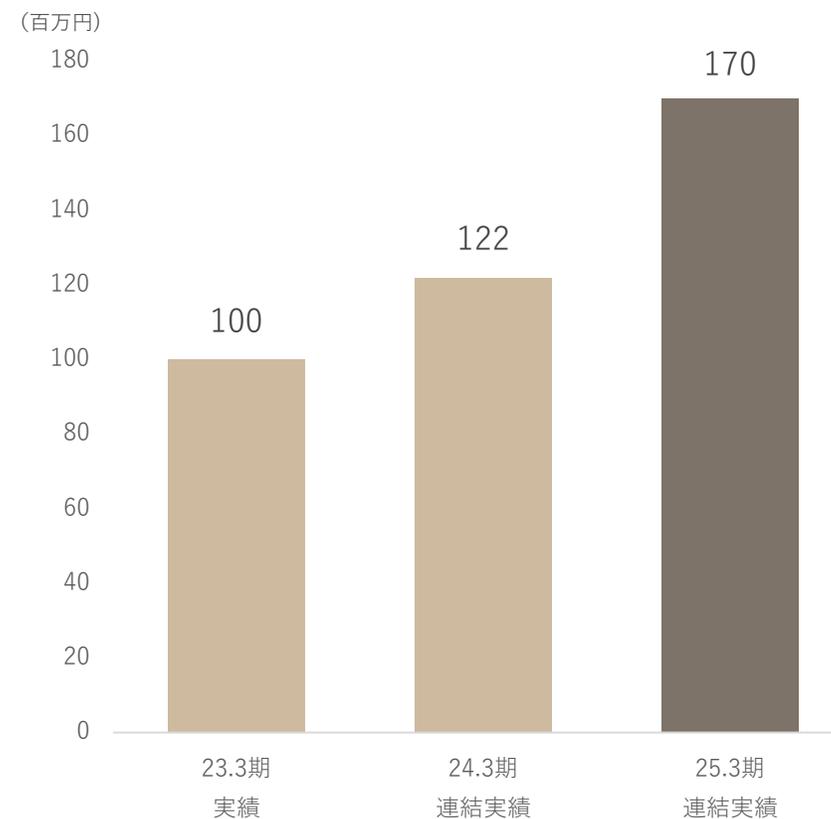
## 不動産マネジメント事業

管理戸数の増加により売上高・セグメント利益は堅調に推移

### 売上高



### セグメント利益

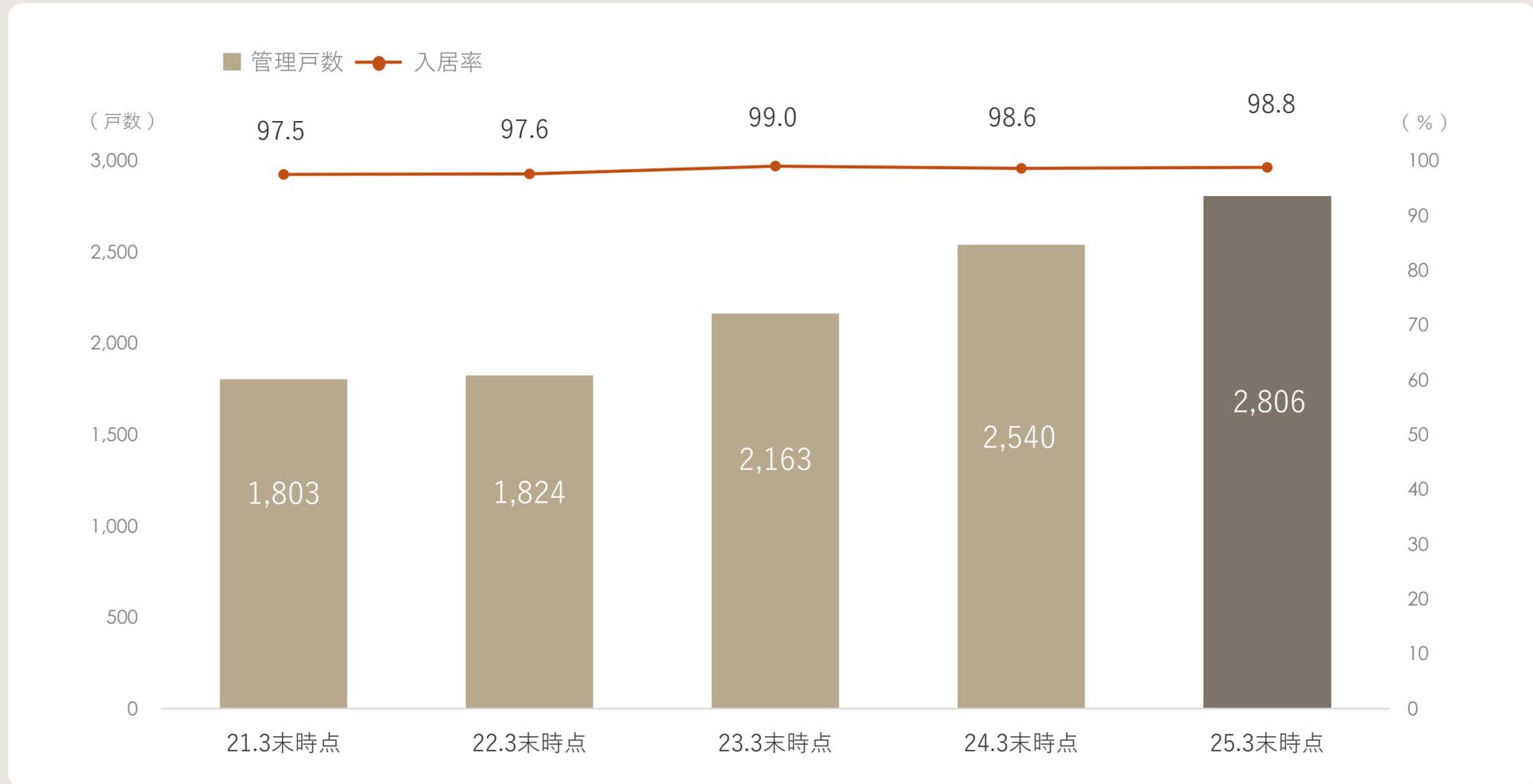


## 不動産マネジメント事業

**管理戸数**

※ 2025年3月末時点

**2,806 戸 / 221 棟**





## 環境性能認証BELS・ZEH取得

GranDuo シリーズの3物件において  
建築物省エネルギー性能表示制度BELSを取得  
そのうち1物件がZEH-M Orientedに認定  
該当物件：GranDuo田園調布6、GranDuo下北沢14

## 「2024年度グッドデザイン賞」を受賞

GranDuo シリーズの5物件において  
「2024年度グッドデザイン賞」を受賞  
受賞物件：GranDuo大森山王、GranDuo富ヶ谷3、  
GranDuo中野6、GranDuo代々木2、GranDuo代々木3

## 「THE GRANDUO」ブランドローンチ

高級賃貸レジデンス「THE GRANDUO」  
ブランドのローンチと、  
コンセプトや世界観、リーシング情報を伝える  
ブランドサイトを公開

## 世田谷ドリームプロジェクト

地域貢献と若者の夢の実現を支援する取り組み  
アート分野「まちからアート」  
ミュージック分野「夢音楽コンテスト」  
スポーツ分野「夢ダンスコンテスト」を開催

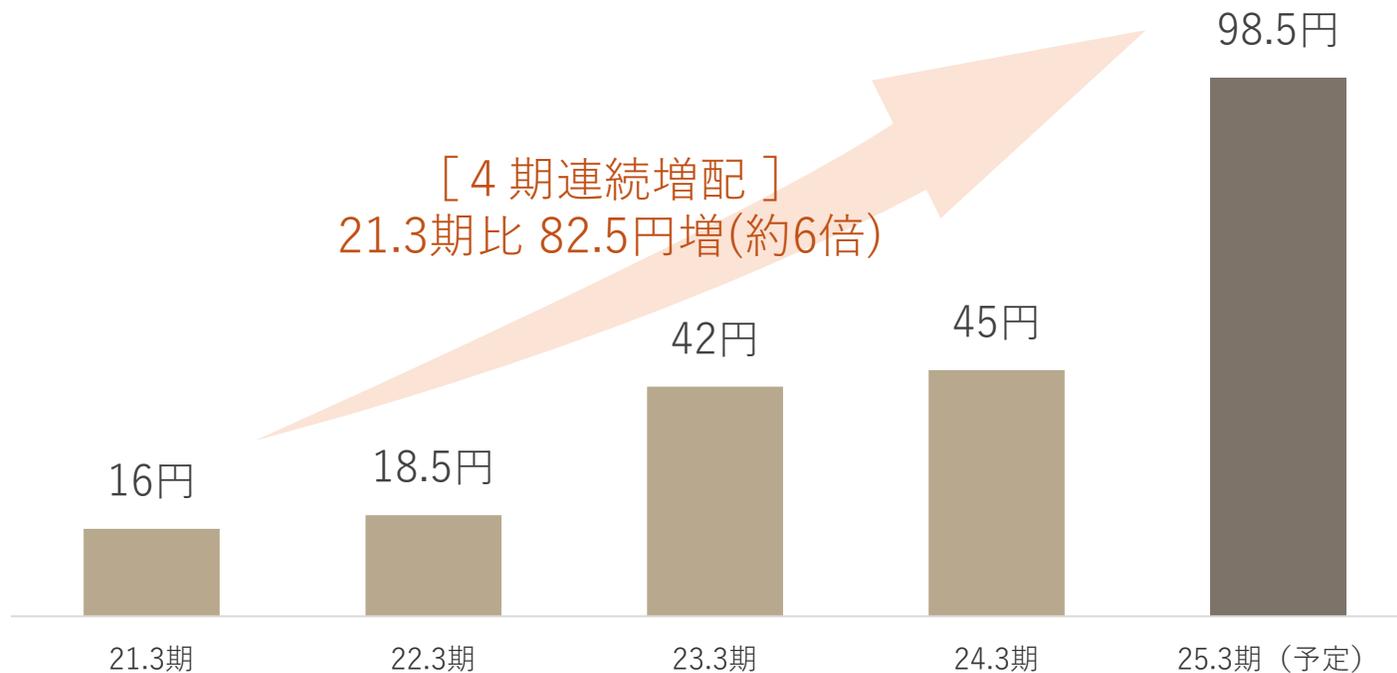


## 配当について

### 配当方針

配当性向35%を目標として配当を実施し、企業価値の向上に応じて配当総額を持続的に高めることを基本方針としている

### 配当推移



※2023年4月1日付で1株につき2株の株式分割を行っており、2023年3月期以前は当該分割を遡及計算しています



# NEXT VISION 2026

中期経営計画「NEXT VISION 2026」  
目標数値修正について

## 「NEXT VISION 2026」 公表時の計画

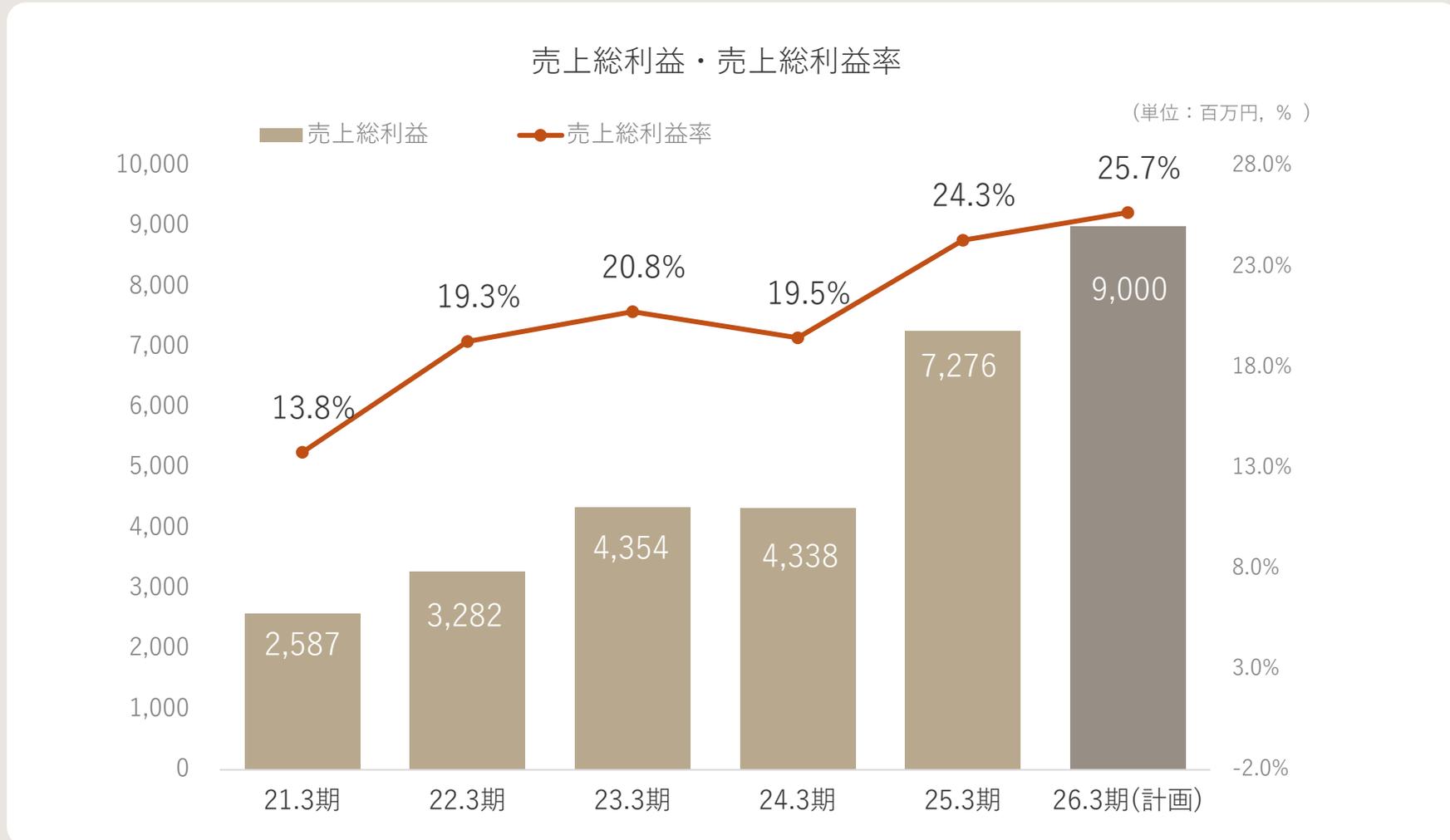
2023年5月15日公表

(単位：百万円)

NEXT VISION 2026	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画
売上高	27,000	33,000	40,000
営業利益	3,300	4,300	5,400
経常利益	3,000	4,000	5,000
当期純利益	2,000	2,700	3,400

## 「NEXT VISION 2026」 最終年度(2026年3月期)数値目標修正

物件価値向上の取り組みが奏功し、売上総利益率の高い物件開発を実現、今期も利益率向上を見込む



※2024年3Q決算より連結決算を開始したため、2024年3月期以降は連結数値

## 「NEXT VISION 2026」 修正計画

継続して物件価値向上の取り組みを強化し、物件当たりの利益率を向上させていくため、売上高・営業利益を修正

(単位：百万円)

NEXT VISION 2026	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画	2026年3月期 修正計画
売上高	27,000	33,000	40,000	35,000
営業利益	3,300	4,300	5,400	5,600
経常利益	3,000	4,000	5,000	5,000
当期純利益	2,000	2,700	3,400	3,400



# EARNINGS FORECAST

2026年3月期 業績予想



## 2026年3月期の重点施策

① 金融機関との連携強化

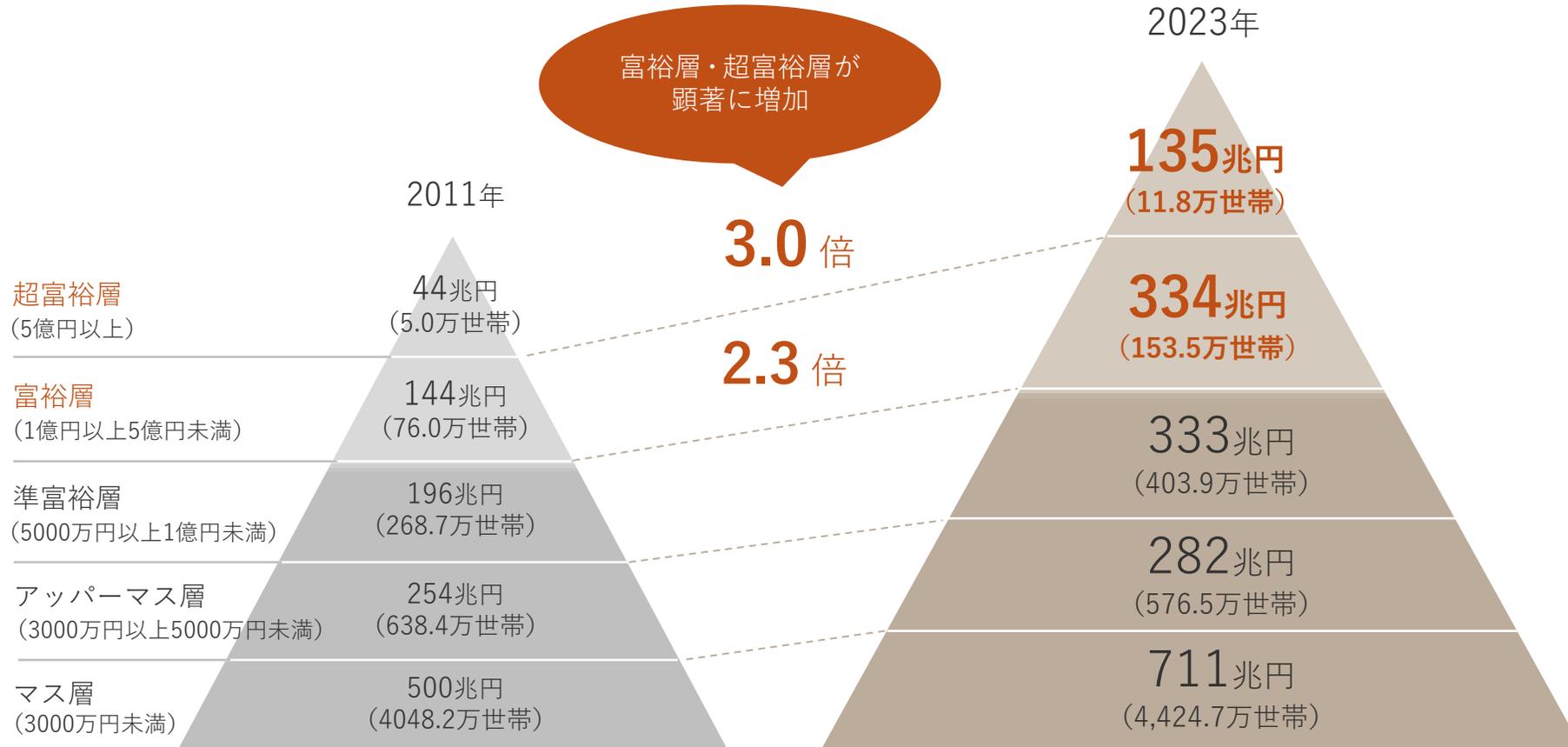
② 物件価値向上に向けた取り組み

③ 「新しい暮らし方」の提案

④ 大型物件の開発推進

## 富裕層世帯と純金融資産の推移

純金融資産保有額の階層別に見た保有資産規模の推移



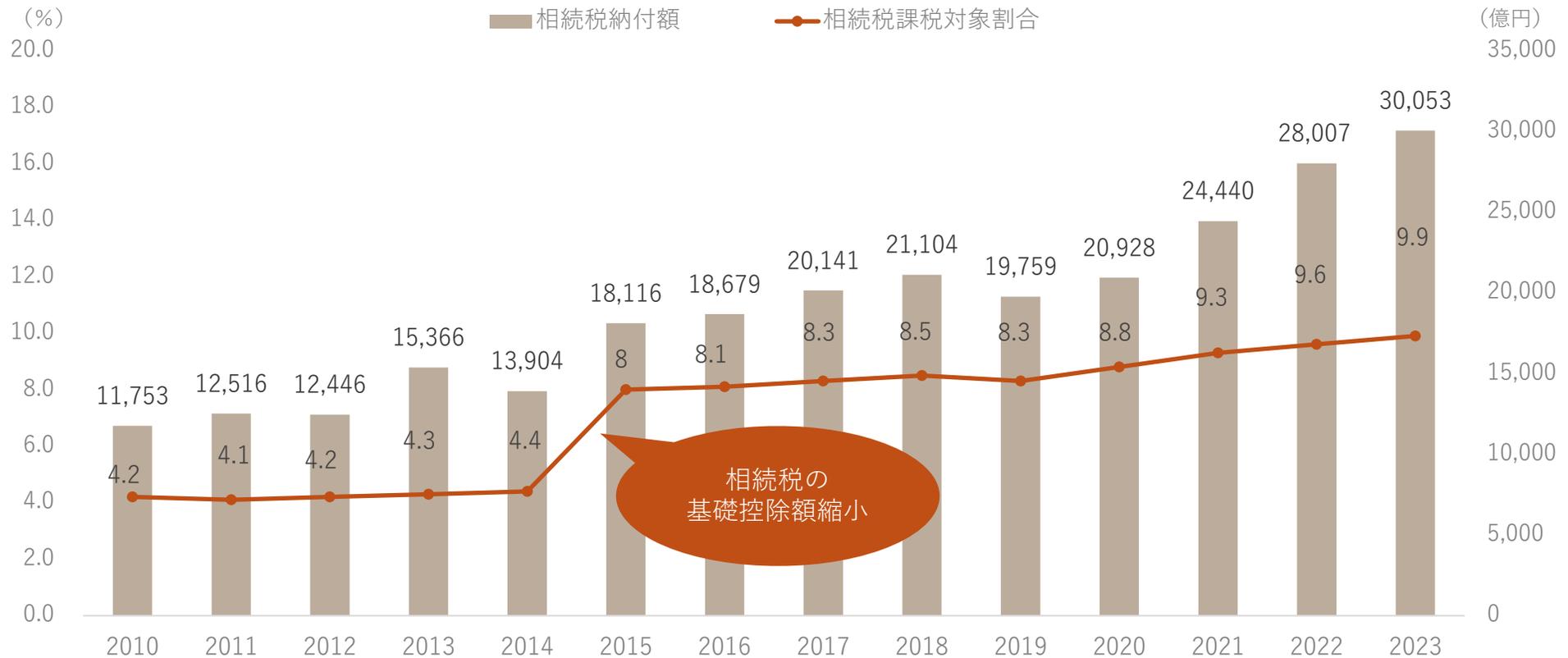
※株式会社野村総合研究所「純金融資産保有額の階層別に見た保有資産規模と世帯数」より当社作成

## 被相続人数・課税対象被相続人数の推移

相続税課税対象者の割合は9.9%、約10人に1人。相続税納付額は年間3兆円を超える

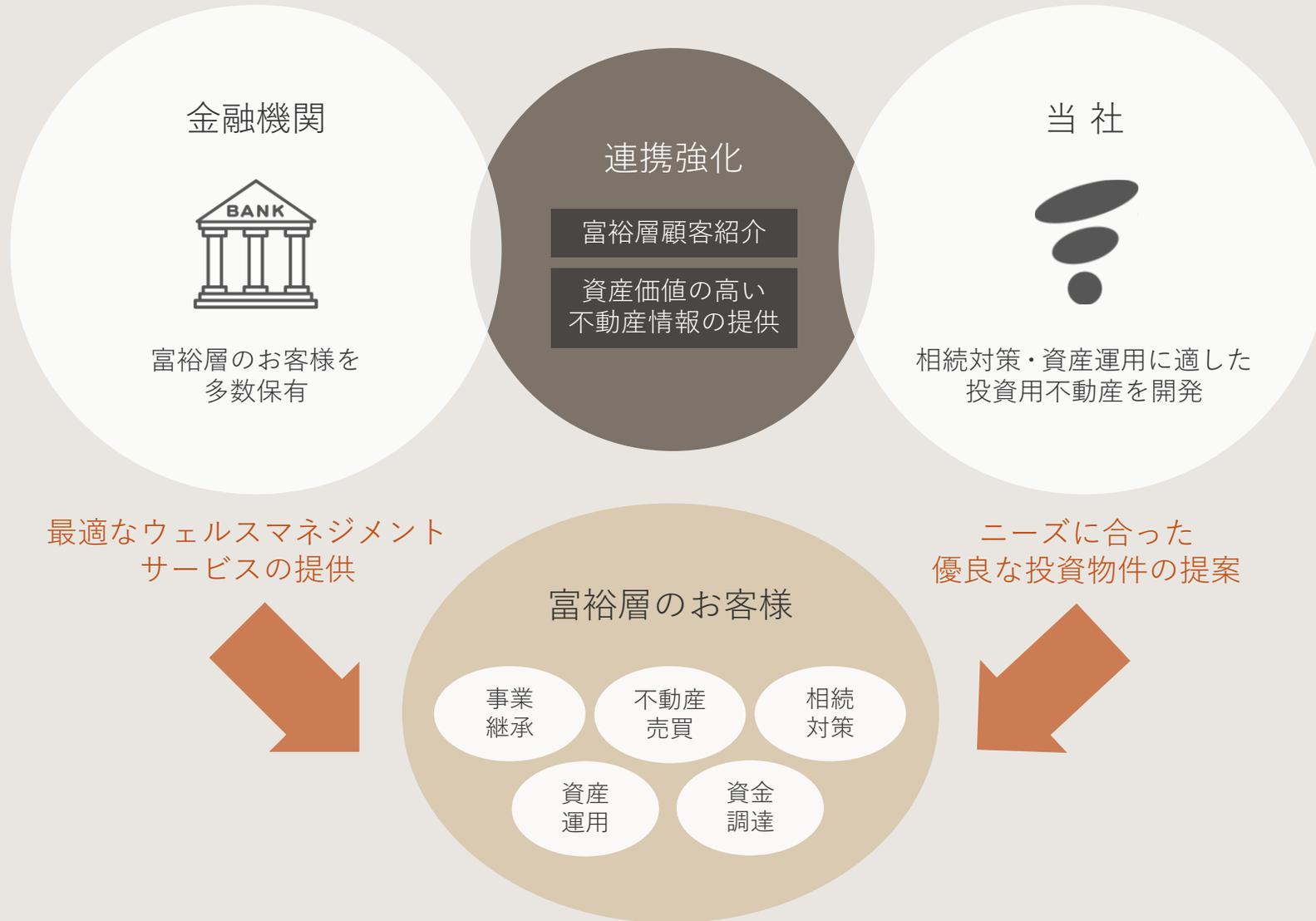
相続税課税対象者の増加・相続税納付額の増加に伴い、資産承継に対する不動産の活用ニーズが高まっている

相続税納付額・相続税課税対象者比率推移



※ 国税庁『令和5年分 相続税の申告事績の概要』の資料を基に当社にて作成

## 金融機関との連携強化



## 金融機関との連携強化

連携強化における各取り組みが奏功し、金融機関からの紹介比率が増加

# 2025

### 2025年3月期の取り組み

- ・新規取引金融機関の開拓
- ・金融機関へのアプローチ数拡大
- ・ビジネスマッチング勉強会等の開催
- ・精度の高い営業ツールの開発

販売総額<sup>※</sup>の  
**約60%**が  
金融機関からの紹介

※2025年3月期取引における

# 2026

### 2026年3月期の取り組み

前期の取り組みに加え

- ・営業力の強化
- ・営業組織体制の増強
- ・営業ツールの更なる改善

を推進し、更なる連携強化を図る

## 金融機関との連携強化

ハイクオリティなCG等を掲載した販売資料により、顧客への紹介がスムーズに



## 金融機関との連携強化

物件紹介用のWEBページを開設し、情報提供を強化



## 2026年3月期の重点施策

① 金融機関との連携強化

② 物件価値向上に向けた取り組み

③ 「新しい暮らし方」の提案

④ 大型物件の開発推進

## 創造する多様な価値

デザインコンセプト = Well-being (ウェルビーイング)

物件開発におけるデザインコンセプトに「ウェルビーイング」を掲げ具体的なテーマとして

9つの指針を策定住むことで「ウェルビーイングな暮らしが実現できる」賃貸マンションとして、物件価値の向上を目指す



### ● 入所者の健康・美容向上効果に繋がる体験価値

1. 心と身体の健康促進  
GOOD FOR HEALTH



2. 美容効果・マインドフルネス  
GOOD FOR BEAUTY



3. 集中と緩和  
ON & OFF



### ● 社会問題に配慮した、環境負担軽減を目指した空間

4. 緑化・自然共生  
BIOPHILIC DESIGN



5. 省エネ環境性能評価  
BELS / ZEH



6. サステナブルデザイン  
SUSTAINABLE



### ● 多様なライフスタイルに対応した安心・安全な住環境

7. 安心・安全  
SAFE & SECURE



8. 多様なライフスタイル  
DIVERSE LIFESTYLES



9. アートのある暮らし  
LIVING WITH ART



## 暮らしているだけで、生きる、を高める先進的な体験価値「FULNESS（フルネス）」

生きる、を高めてこそ、真に美しい住空間となる。

心身の健やかな状態が続くウェルビーイングから発展させた、

暮らしているだけでエネルギーが満ち、充実感を覚える「フルネス」という体験価値

# FULNESS

空気

Specialty Air Space

集中力とリラックス、睡眠の質向上に貢献する空間の提供

連携企業



水

Premium Water System

美容や健康に最適なプレミアムで安心な水の提供

連携企業



光

Human Centric Lighting Plan

それぞれのライフスタイルに最適な照明環境の提供

連携企業



ECO

IoT/Energy Management

再生可能エネルギーの活用とエネルギーマネジメント

連携企業



ZEH/BELS

Development

環境認証対応物件の開発

## 省エネによる環境負荷軽減など社会貢献に繋がる「空間価値」の創造

社会や自然環境が大きく変化していく中で、ものづくりのこだわりは変えることなく、新たなデザインや素材・技術は柔軟に取り入れ、空間価値を創造

緑化・自然との共生

### Biophilic Design

緑が豊かな生活空間  
自然とのつながりを感じられる空間



断熱・省エネ性能の向上

### BELS & ZEH

環境に配慮した建築性能評価  
光熱費削減に繋がる省エネ性能



サステナブルデザイン

### Sustainable

サーキュラーデザイン\*の採用推進  
産業廃棄削減と資源の新たな価値創造



\*循環型経済（サーキュラーエコノミー）実現のためのデザイン。産業廃棄削減や資源の再活用などで新たな経済的・社会的価値の創造を目指す

## 2026年3月期の重点施策

1. 金融機関との連携強化

2. 物件価値向上に向けた取り組み

3. 「新しい暮らし方」の提案

4. 大型物件の開発推進

## 富裕層向けの最高級賃貸レジデンス「THE GRANDUO」シリーズの開発を推進

GranDuo シリーズとは一線を画す

より高級且つ本物志向の最高級賃貸レジデンス

『THE or Not ザ・グランデュオか、それ以外か。』

“THE” (唯一無二)を冠した、世界のどこをさがしても代わるものがない存在



一般的な高級レジデンスの開発期間は開発規模が大きく3年～10年と長期に渡るが、「THE GRANDUO」は中低層型の高級レジデンスであり、開発期間は2年前後でオーナー様へ提供可能

物件ごとに多様な価値を生み出すため、設計はすべて邸宅の設計に実績のある著名な建築家に依頼

デザインと居住性の両立はもちろん、FULNESS [フルネス] をコンセプトに心と体を満たし、暮らしのクオリティを向上する特別な設備・仕様を標準装備

## 「THE GRANDUO」を創る有名建築家



Ai Yoshida



Makoto Tanijiri



Makoto Yokomizo

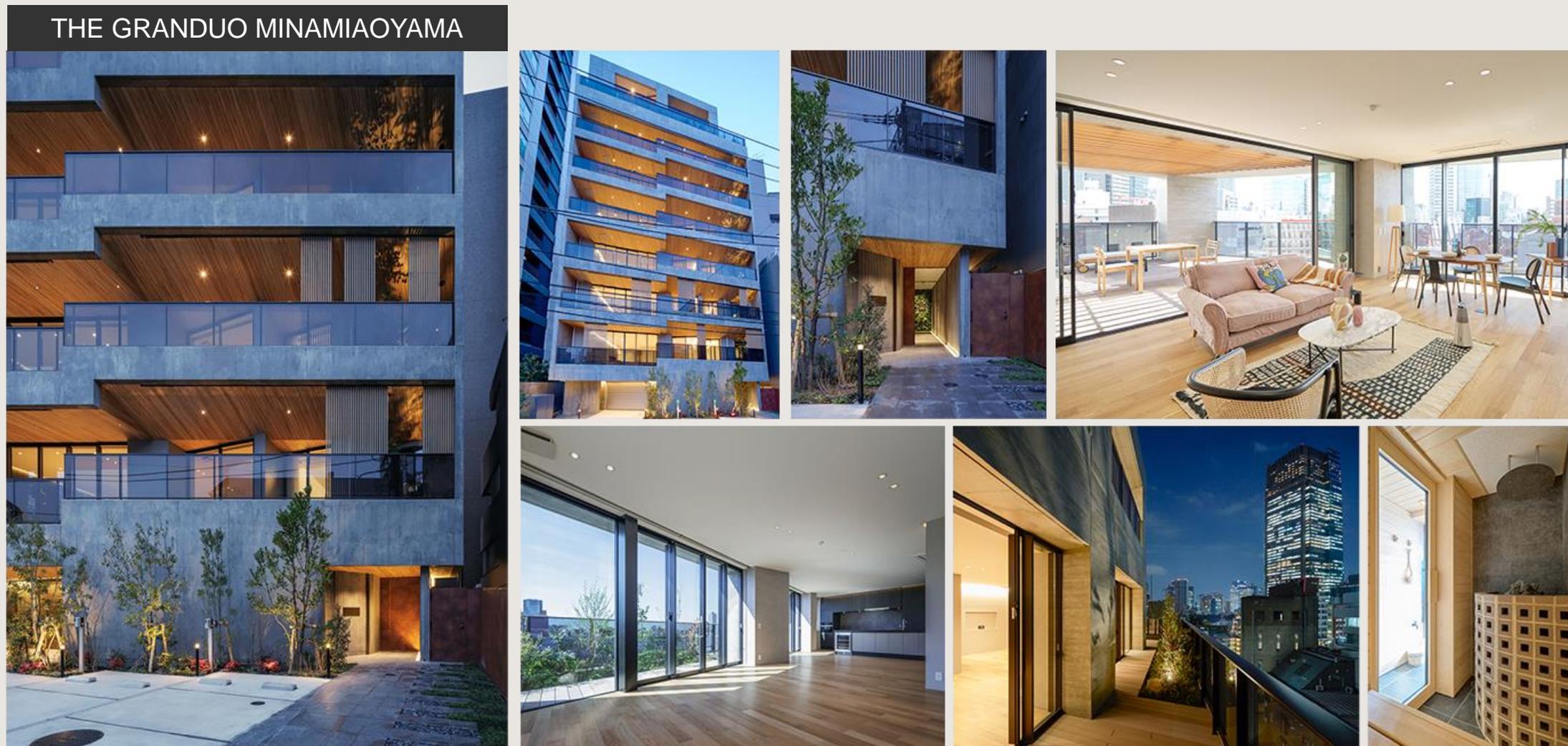


Tatsuya Ogawa



Yuko Nagayama

## 2025年3月期「THE GRANDUO」シリーズ3物件が竣工



## THE GRANDUO OKUSAWA UTAKATA



## THE GRANDUO CHITOFUNA



## 高級レジデンスを取り巻く状況

一定の富裕層の間で賃貸の手軽さや利便性を求める需要が増加傾向  
これに対応して高級賃貸レジデンスが開発されているが、絶対数は不足

エリア	築年数	平米数	賃料 / 月	坪単価
六本木	築17年	159.35㎡	170万円	3.5万円/坪
渋谷	築14年	256.4㎡	320万円	4.1万円/坪
麻布台	築1年	164.4m <sup>2</sup>	262万円	5.3万円/坪
広尾	築11年	226.82㎡	265万円	3.8万円/坪
青葉台	築15年	280.92㎡	230万円	2.7万円/坪
代官山	築14年	294.4㎡	219万円	2.4万円/坪
赤坂	築6年	172.4㎡	230万円	4.4万円/坪
虎ノ門	築10年	151.1㎡	174万円	3.8万円/坪
六本木	築21年	151.50㎡	190万円	4.1万円/坪
仙石山	築12年	90.20㎡	103万円	3.7万円/坪
恵比寿	築5年	106.09㎡	130万円	4.1万円/坪
神宮前	築4年	80.65㎡	83万円	3.5万円/坪
代々木上原	築1年	175.73㎡	175万円	3.2万円/坪
THE GRANDUO MINAMIAOYAMA	新築	86.76 ~ 139.55㎡	110 ~ 159万円	3.2 ~ 4.1万円/坪

## 2026年3月期に開発予定のTHE GRANDUO

### THE GRANDUO YOGA



### THE GRANDUO SAKURASHINMACHI



## 2026年3月期に開発予定のTHE GRANDUO

### THE GRANDUO FUTAKOTAMAGAWA



### THE GRANDUO GAKUGEIDAIGAKU



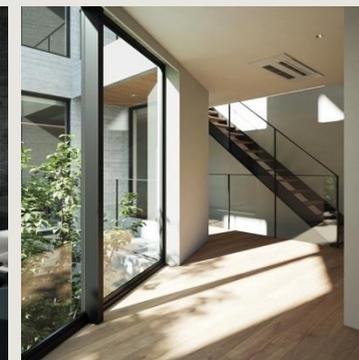
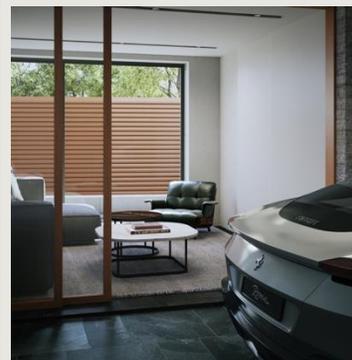
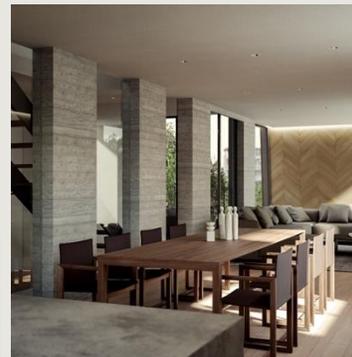
その他、9件のプロジェクトが進行中（今期6物件竣工予定）

## 富裕層向けの新築RC戸建住宅「THE GRANHAUS」の開発を推進

- ・ 環境に優しいエコマネジメント住宅
- ・ 住むだけで健康になれる、FULNESSな暮らしを実現する様々な体験価値が組み込まれた住空間
- ・ 上質なデザインとハイグレードな設備・一定規模の敷地面積(140㎡以上)を有する贅沢な仕様
- ・ 立地は最寄駅から至近の徒歩圏内ではなく、閑静な住宅エリア
- ・ 一つのエリアに複数戸(4戸)を開発し、実需にも仮需(投資用)にも対応

### THE GRANHAUS HANEGI

4戸の開発が進行中、2025年5月末竣工予定



## THE GRANHAUS SHIMOKITAZAWA

3戸の開発が進行中、2026年3月末竣工予定



その他、西麻布、恵比寿、南青山エリアにて、3件の戸建プロジェクトが進行中

## 2026年3月期の重点施策

1. 金融機関との連携強化

2. 物件価値向上に向けた取り組み

3. 「新しい暮らし方」の提案

4. 大型物件の開発推進

## 大型物件の開発推進

国内外の機関投資家や法人需要の増加に伴い、大型物件の需要拡大  
大型化による物件当たりの収益性向上と物件開発の効率化を図る



2023年3月期  
約 7.1億円

2024年3月期  
約 9.9億円

2025年3月期  
約 12.2億円

2026年3月期  
約 14.0億円(計画)



## 2026年3月期 連結業績予想

売上高、営業利益のみ当初の中期経営計画から変更

(単位：百万円)

	25.3期 実績	26.3期 予想	増減額	増減率
売上高	29,915	35,000	5,085	16.9%
営業利益	4,519	5,600	1,081	23.9%
経常利益	4,106	5,000	894	21.7%
親会社株式に 帰属する 当期純利益	2,769	3,400	631	22.7%

## 販売予定物件

不動産商品 **26**件、建築商品 **1**件、合計 **27**件を予定



## 開発中のプロジェクト

43プロジェクトが進行中（世田谷26、目黒7、その他8）

GD : GranDuo / TGD : THE GRANDUO / TGH : THE GRANHAUS

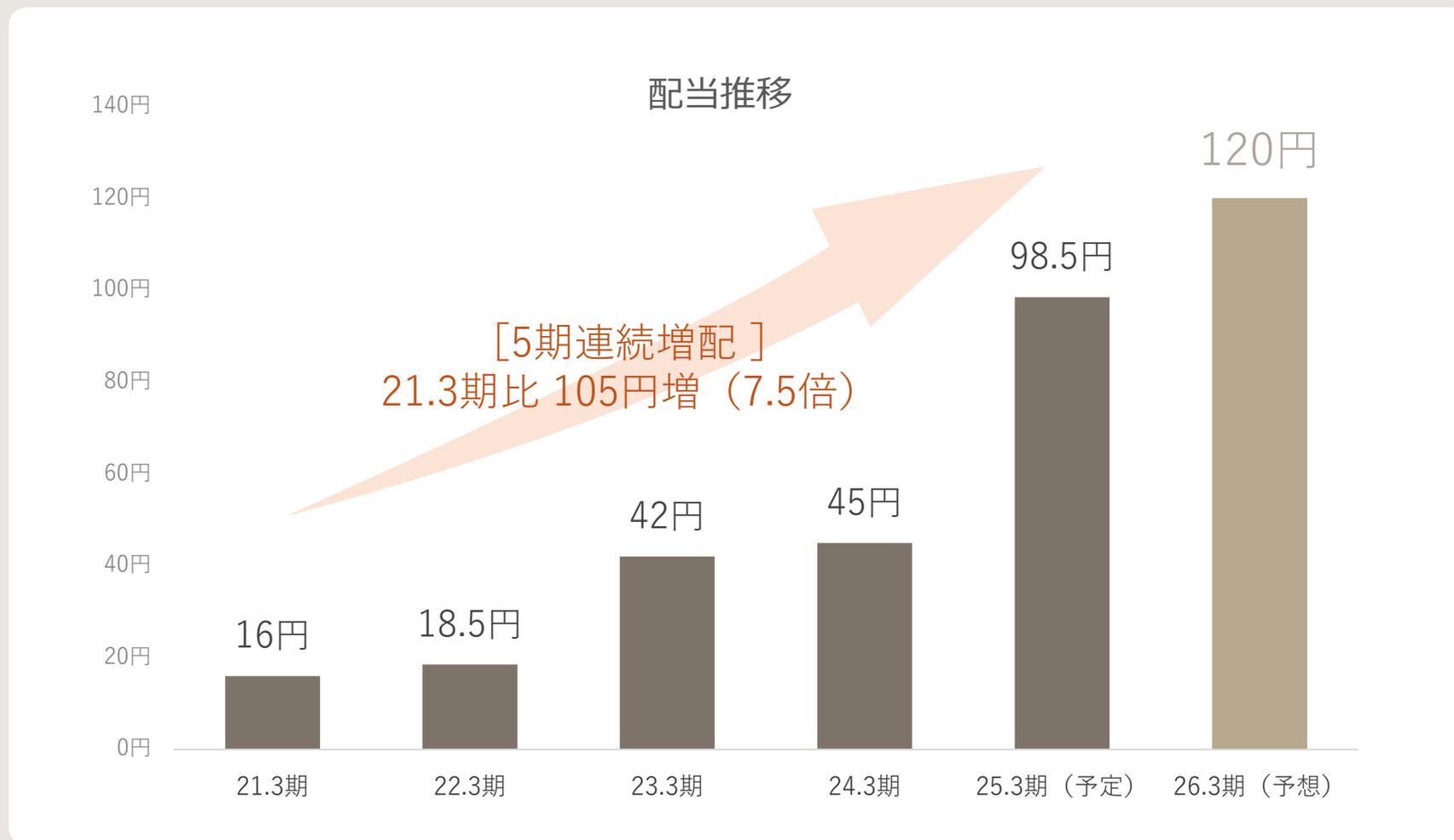
No.	プロジェクト名	所在地	延床面積 (㎡)	No.	プロジェクト名	所在地	延床面積 (㎡)	No.	プロジェクト名	所在地	延床面積 (㎡)
1	GD下北沢15	世田谷区	477.98	16	TGD FUTAKOTAMAGAWA SEED	世田谷区	546.46	31	GD祐天寺3	目黒区	1084.13
2	GD千歳船橋7	世田谷区	724.71	17	TGD YOGA	世田谷区	1919.64	32	GD都立大学3	目黒区	595.23
3	GD経堂19	世田谷区	679.43	18	TGD SAKURASHINMACHI	世田谷区	1136.16	33	TGD MEGURO HIGASHIGAOKA	目黒区	1226.44
4	GD経堂20	世田谷区	709.87	19	TGD HANEGI V	世田谷区	2184.18	34	TGD GAKUGEIDAIGAKU	目黒区	1351.07
5	GD用賀7	世田谷区	810.35	20	TGD HANEGI Y	世田谷区	2184.18	35	TGD KAMIMEGURO	目黒区	1158.58
6	GD代沢5	世田谷区	594.39	21	TGD HANEGI S	世田谷区	2184.18	36	GD白金高輪	港区	457.41
7	GD祖師谷5	世田谷区	690.08	22	TGH HANEGI N	世田谷区	266.67	37	TGH NISHIAZABU	港区	337.96
8	GD祖師谷7	世田谷区	735.88	23	TGH HANEGI G	世田谷区	244.01	38	GD戸越銀座	品川区	671.12
9	GD梅ヶ丘	世田谷区	804.21	24	TGH HANEGI R	世田谷区	266.67	39	GD品川中延	品川区	816.34
10	GD千歳烏山	世田谷区	1104.72	25	TGH HANEGI B	世田谷区	244.01	40	GD武蔵小山5	品川区	1033.65
11	GD桜新町	世田谷区	906.84	26	TGH SHIMOKITAZAWA A	世田谷区	239.56	41	GD荻窪2	杉並区	999.05
12	GD三軒茶屋12	世田谷区	1342.95	27	TGH SHIMOKITAZAWA B	世田谷区	244.01	42	GD荻窪3	杉並区	863.83
13	GD世田谷17	世田谷区	532.39	28	TGH SHIMOKITAZAWA C	世田谷区	239.56	43	GD中野7	杉並区	1080.40
14	TGD FUTAKOTAMAGAWA	世田谷区	1103.64	29	GD学芸大学4	目黒区	519.64				
15	TGD FUTAKOTAMAGAWA SOIL	世田谷区	940.54	30	GD祐天寺2	目黒区	998.72				

2025/3/31時点



## 2026年3月期 配当予想

2026年3月期の配当は、年間 **120円** を予想  
5期連続増配を目指す





2024年4月～2025年3月末までの竣工棟数

城南3区（世田谷区・目黒区・渋谷区）で  
新築一棟RCマンションの竣工棟数

**No.1**<sup>※</sup>

※ 株式会社建設データバンクのデータを基に当社調べ（2025年3月末時点）

# 300のSTORY

物件の数だけ想いがあります



# ABOUT US

## フェイスネットワークとは ...

入居者の「住みたい」とオーナーの「持ち続けたい」を満たす  
デザインと居住性を両立させた投資用新築一棟RCマンションを  
人が集まる東京の城南3区（世田谷区・目黒区・渋谷区）を中心に  
ワンストップサービスで企画・開発し、  
富裕層の個人投資家や機関投資家等に販売する会社



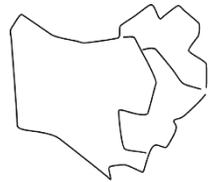
## 事業紹介

投資用不動産を企画販売する「不動産投資支援事業」「不動産マネジメント事業」を展開



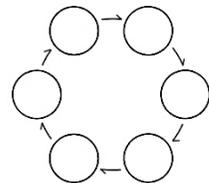
01

新築一棟RCマンション (GranDuo シリーズ)  
グランデュオ



02

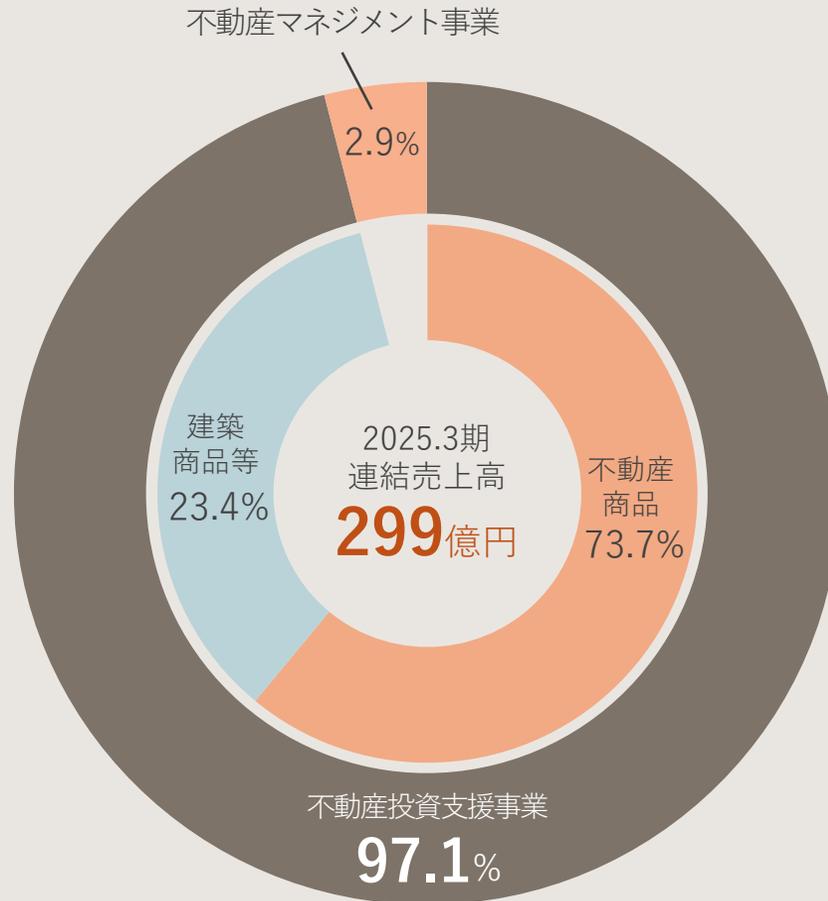
ワンストップサービス



03

城南3区 (世田谷区・目黒区・渋谷区)

## 事業構成



※建築商品はその他受注商品を含む

### 不動産投資支援事業の商品形態

不動産  
商品

主に竣工した新築一棟マンション  
を投資商品として提供

建築  
商品等

主に新築一棟マンション建築予定の  
土地を先行販売し、設計・請負工事  
契約を締結して建築・竣工

## 事業紹介 ① 新築一棟RCマンション

## GranDuo シリーズ

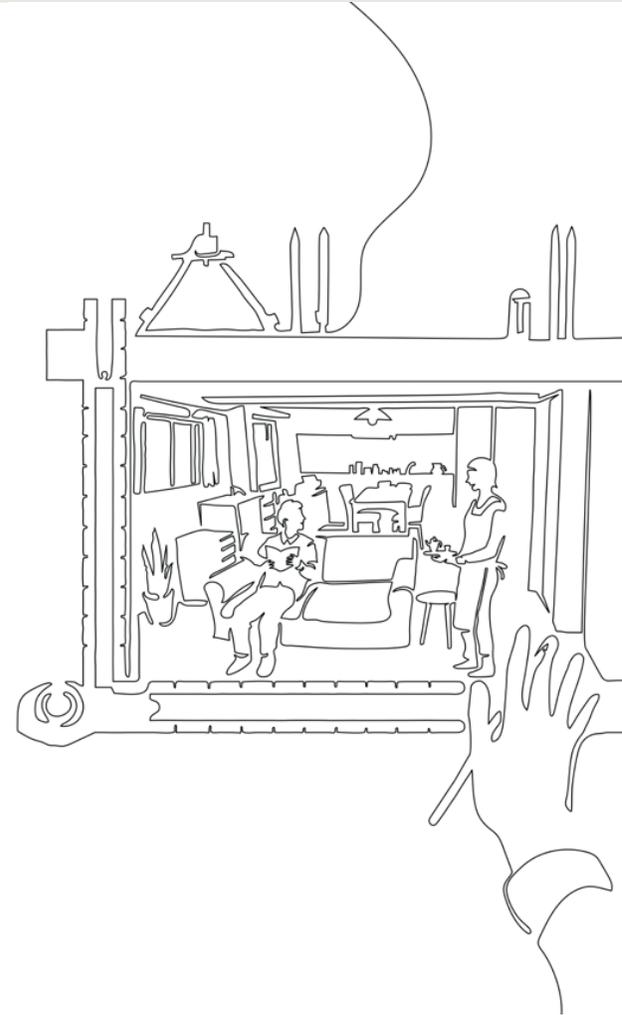
グランデュオシリーズは、独自設計でプロジェクトごとにコンセプトを設定。そのコンセプトがデザインや間取りなどに落とし込まれることで付加価値が付き、他の賃貸物件との差別化を実現しています。

さらに、RC物件は寿命が長く優れた耐震性を持つという観点からも、長期的な運用を考えるオーナー様にとっては非常に大きなメリットとなります。

こうした要素は、入居者にとっても「安心できる住まい」として選ばれ、賃貸需要の安定的な確保につながります。

よって、長期的に安定した投資事業の運用を可能にします。

独自設計

高品質な  
設備耐震性  
耐久性

## 事業紹介 ② 城南3区エリア (世田谷区・目黒区・渋谷区)

城南3区エリアの立地条件の優秀性

土地価格変動：少ない / 賃料価格変動：少ない / 賃貸需要：多い / 賃料相場：高い

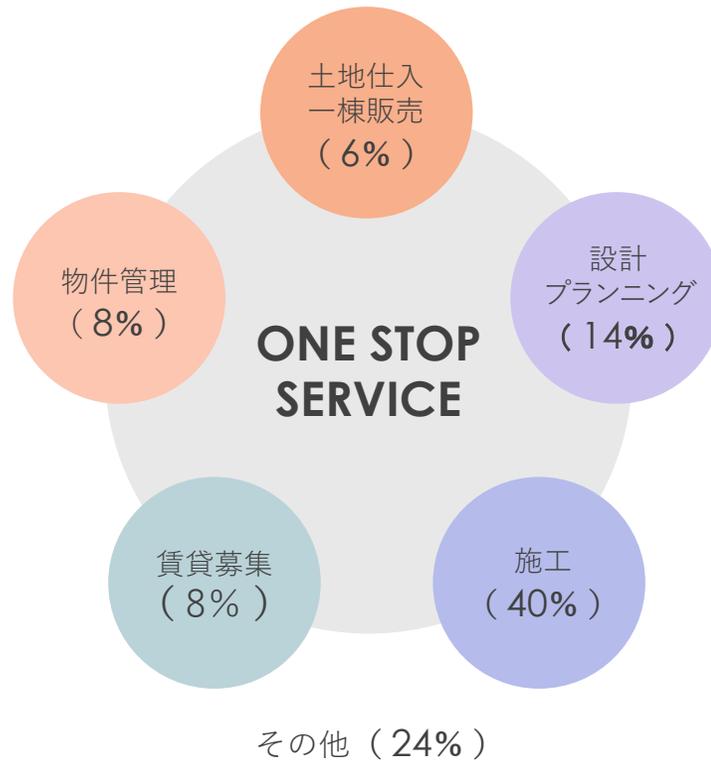
### 城南3区の代表的な街

東急田園都市線「三軒茶屋」  
小田急線「下北沢」  
東急東横線「中目黒」「自由が丘」  
JR山手線「恵比寿」等



## 事業紹介 ③ ワンストップサービス

当社グループの業種別人員数比率



土地の仕入れ、設計・施工・賃貸募集・建物管理・一棟販売まで全てを一括して管理する「ワンストップサービス」を提供しています。

全て一括でサポートすることで、業者間で発生する中間コストの抑制、工期の短縮、収益性を高める企画の実行など、様々なメリットを生み出す「最大の武器」になると考えています。

中間コストの削減

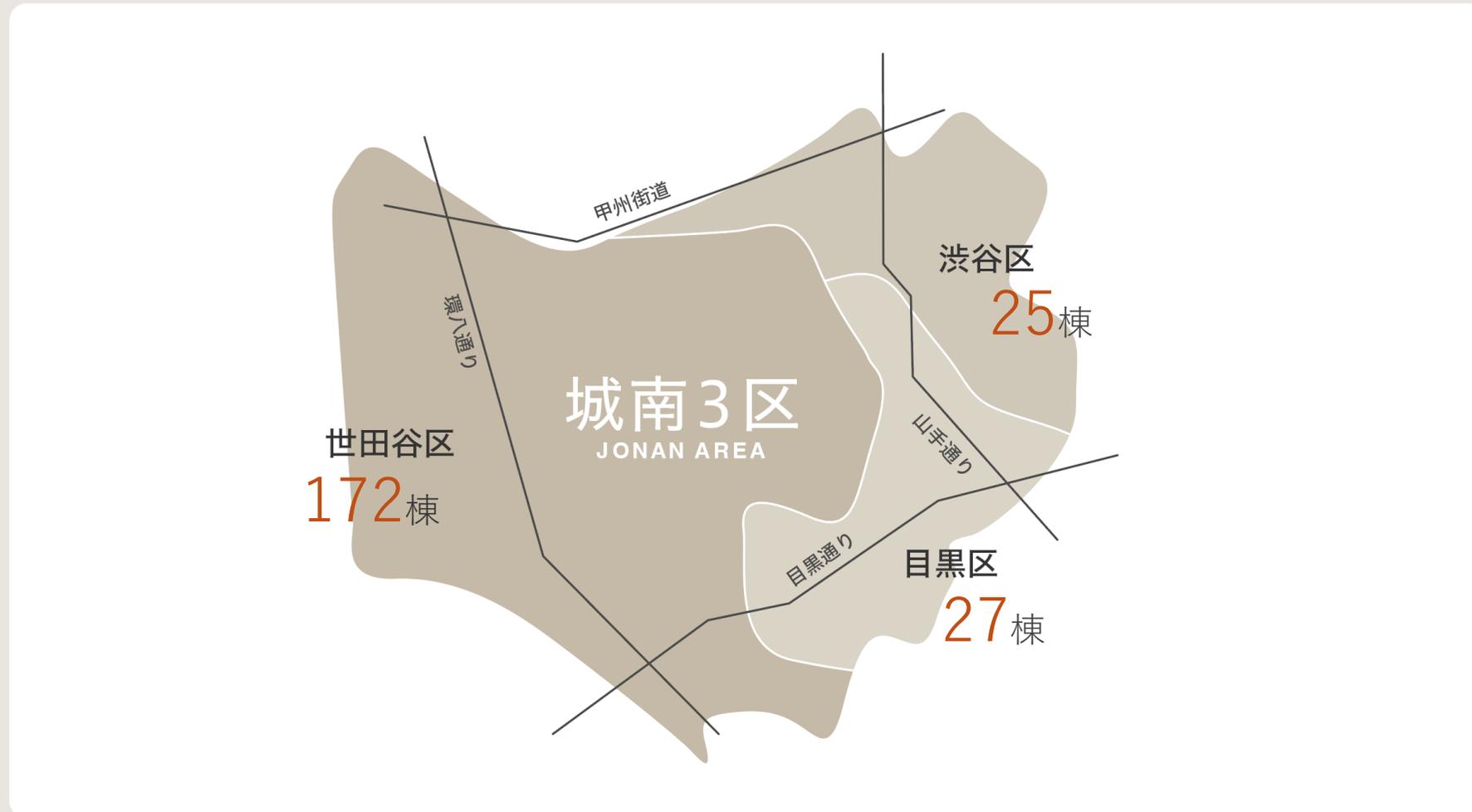
スピーディーな対応

収益性を高める企画

※ 2025年3月末時点の従業員パーセンテージ  
 ※株式会社岩本組合

## 物件開発実績

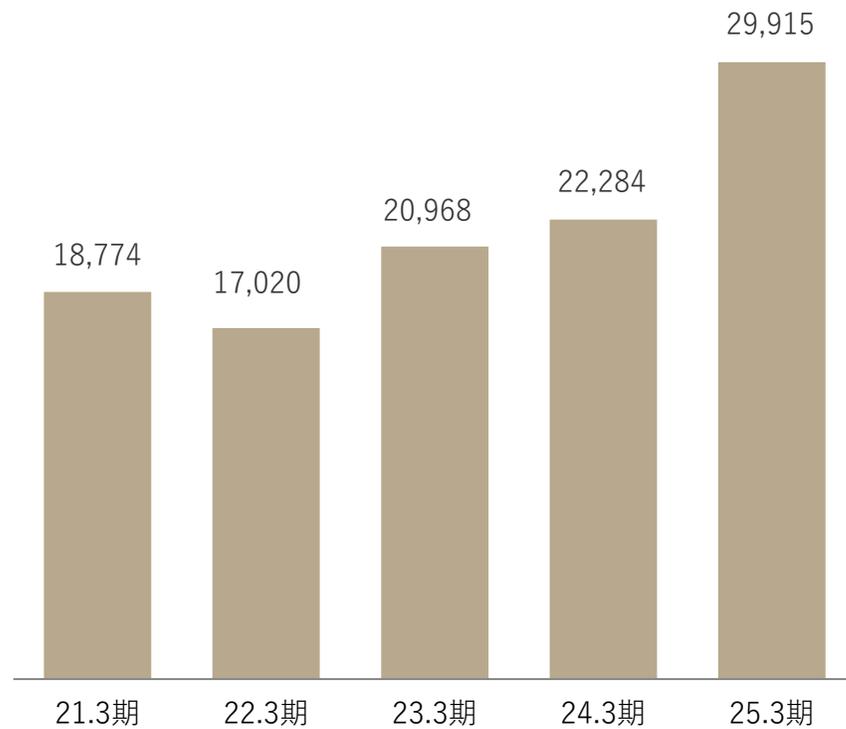
開発物件数299棟のうち、**224**棟（74.9%）を城南3区で開発



## 財務ハイライト

### 売上高

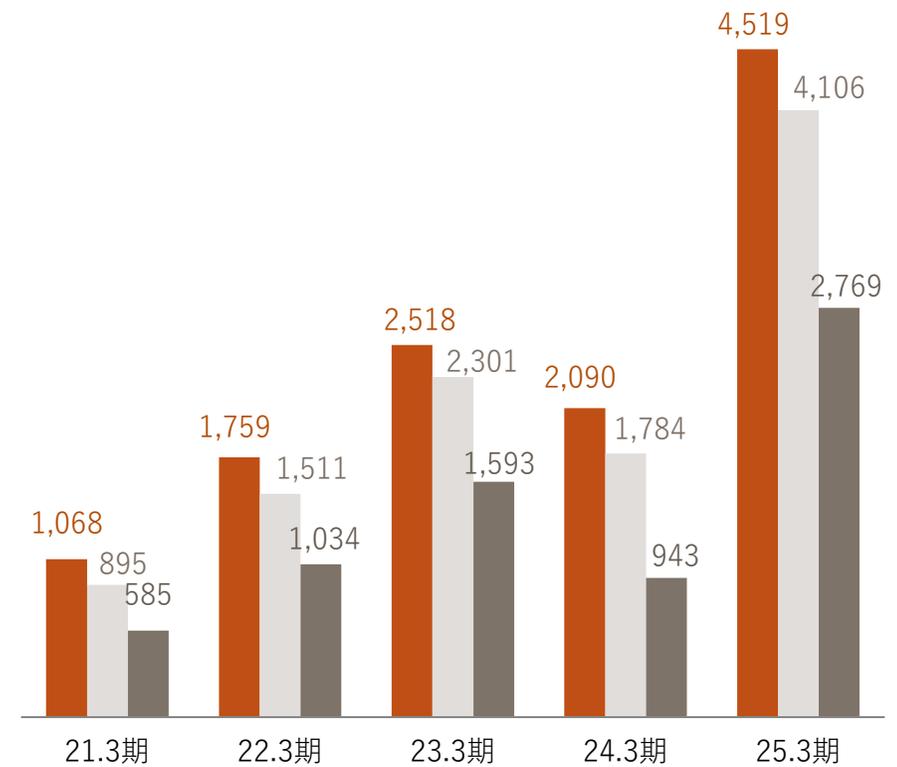
(単位：百万円)



### 利益

(単位：百万円)

■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



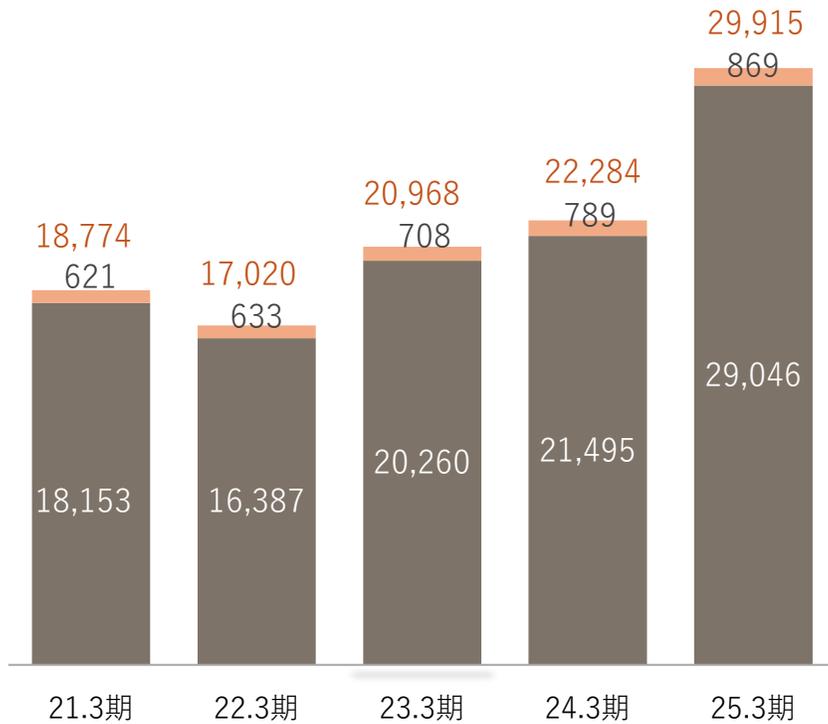
※2024年3Q決算より連結決算となっておりますので、2024年3月期以降は連結の数値を記載しています

## 財務ハイライト

### セグメント売上高

(単位：百万円)

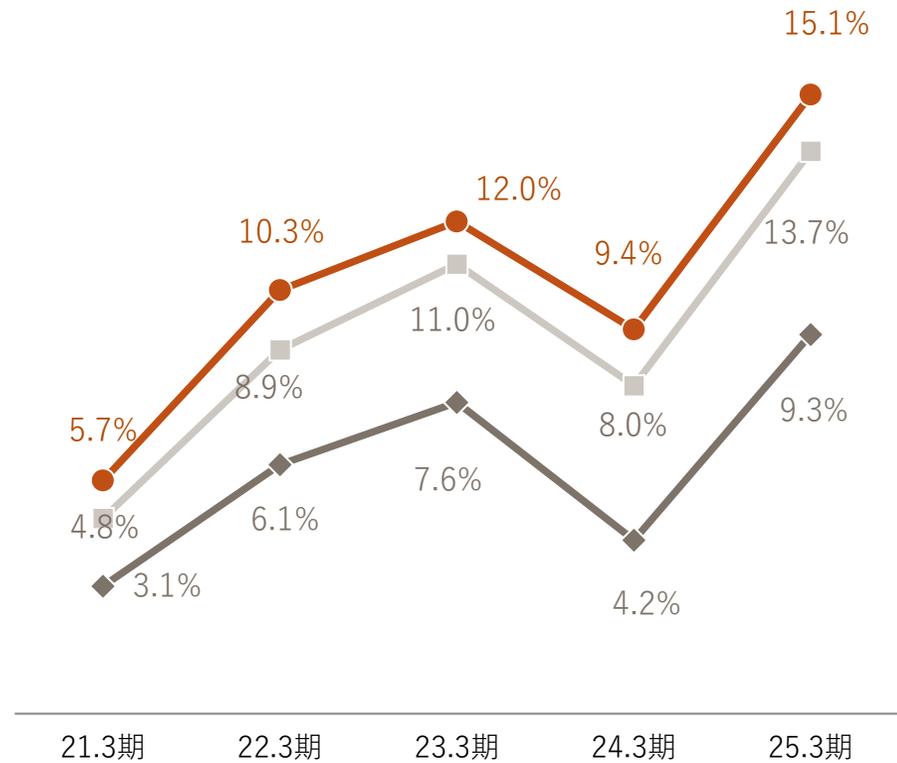
■ 不動産投資支援事業    ■ 不動産マネジメント事業



### 利益率

(単位：%)

● 営業利益率    ■ 経常利益率    ◆ 当期純利益率

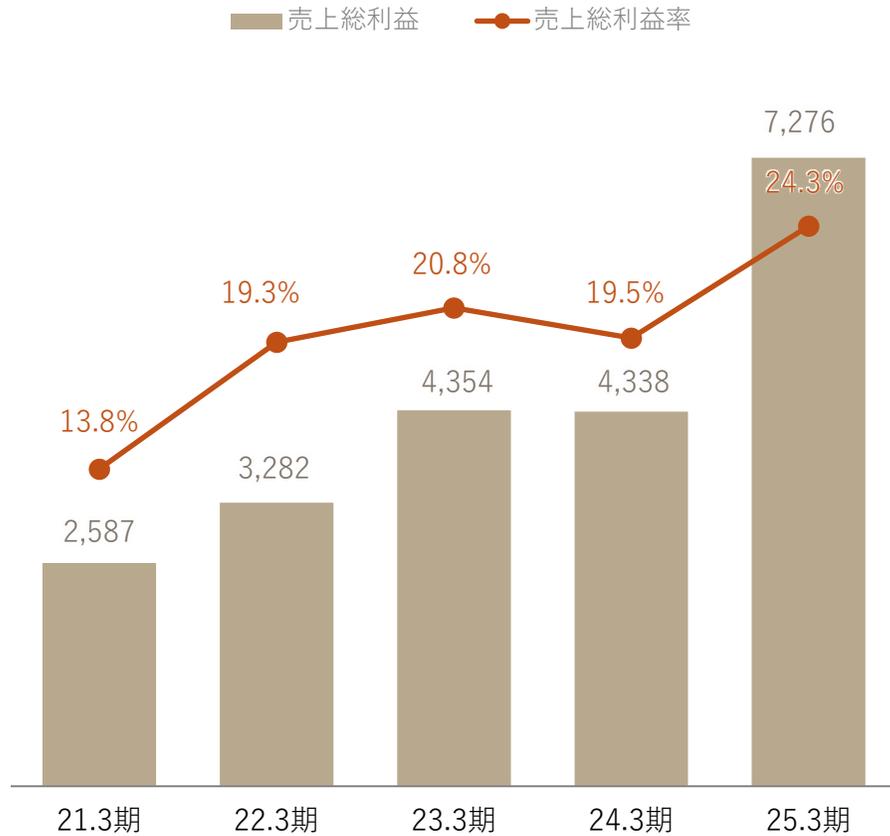


※2024年3Q決算より連結決算となっておりますので、2024年3月期以降は連結の数値を記載しています

## 財務ハイライト

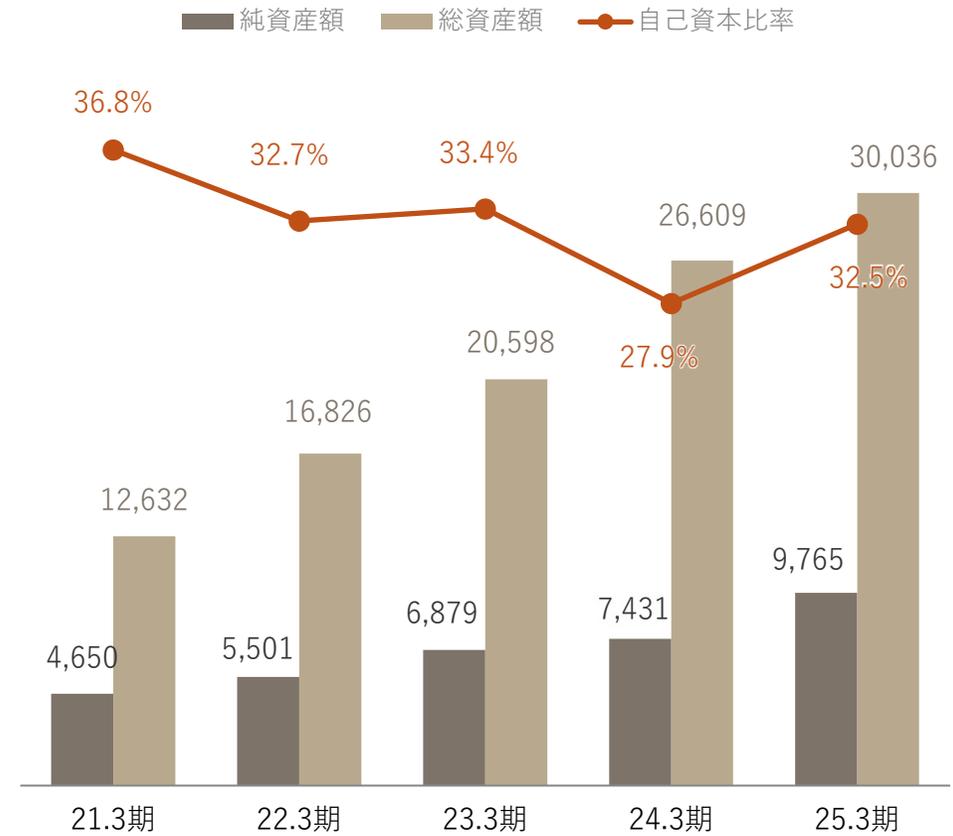
### 売上総利益・利益率

(単位：百万円)



### 総資産額・純資産額・自己資本比率

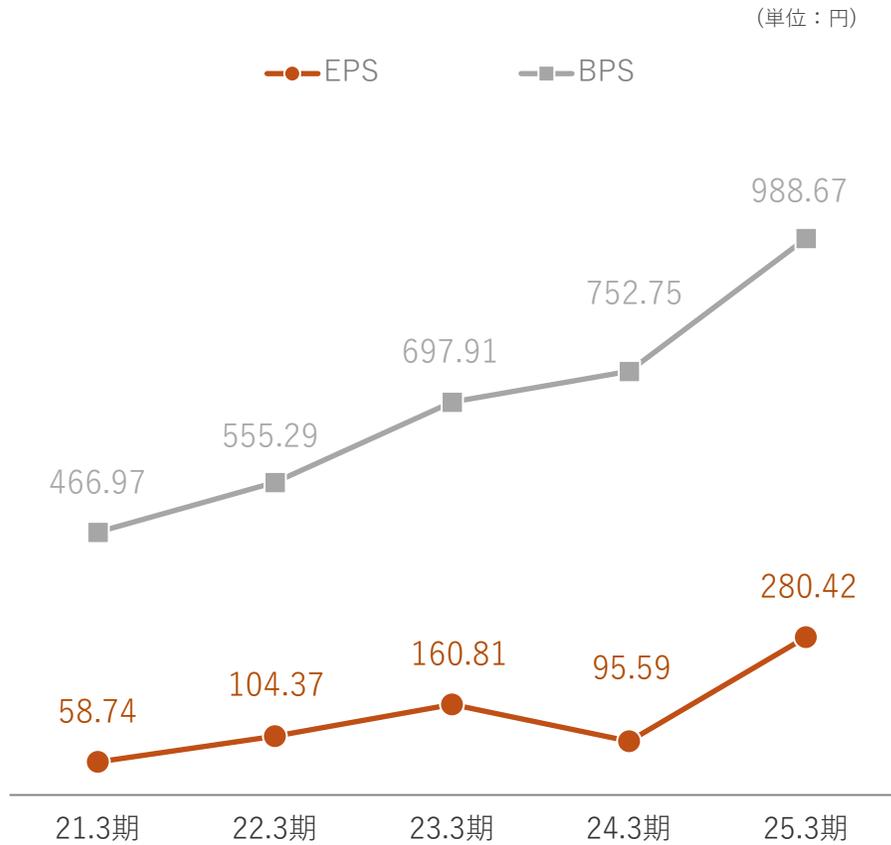
(単位：百万円)



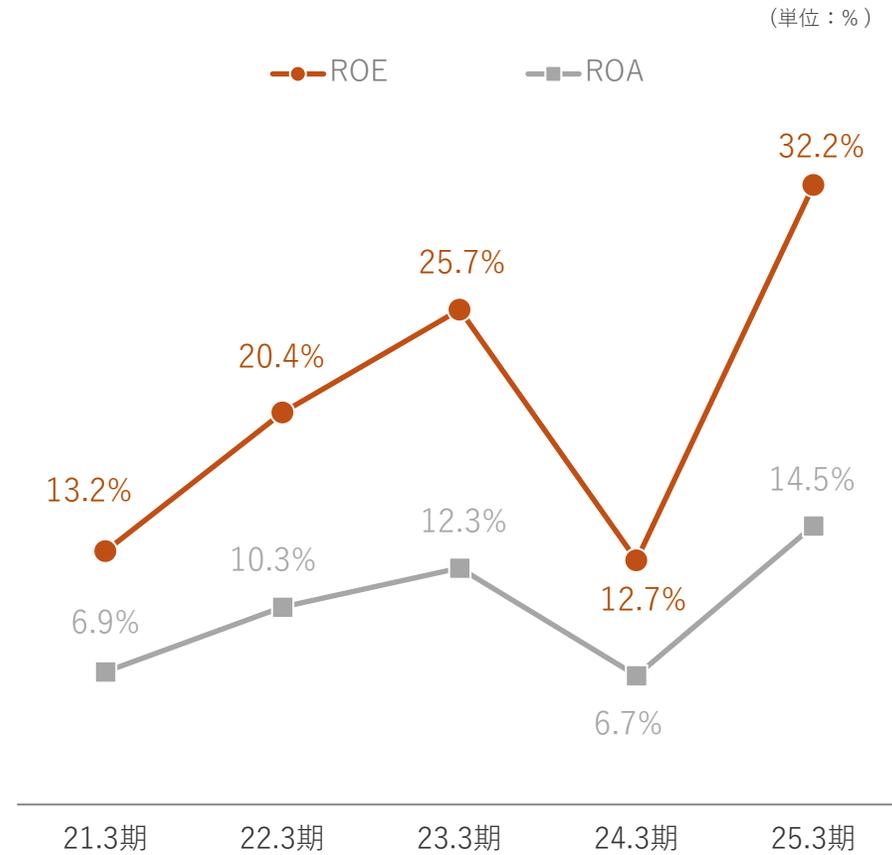
※2024年3Q決算より連結決算となっておりますので、2024年3月期以降は連結の数値を記載しています

## 財務ハイライト

### EPS・BPS



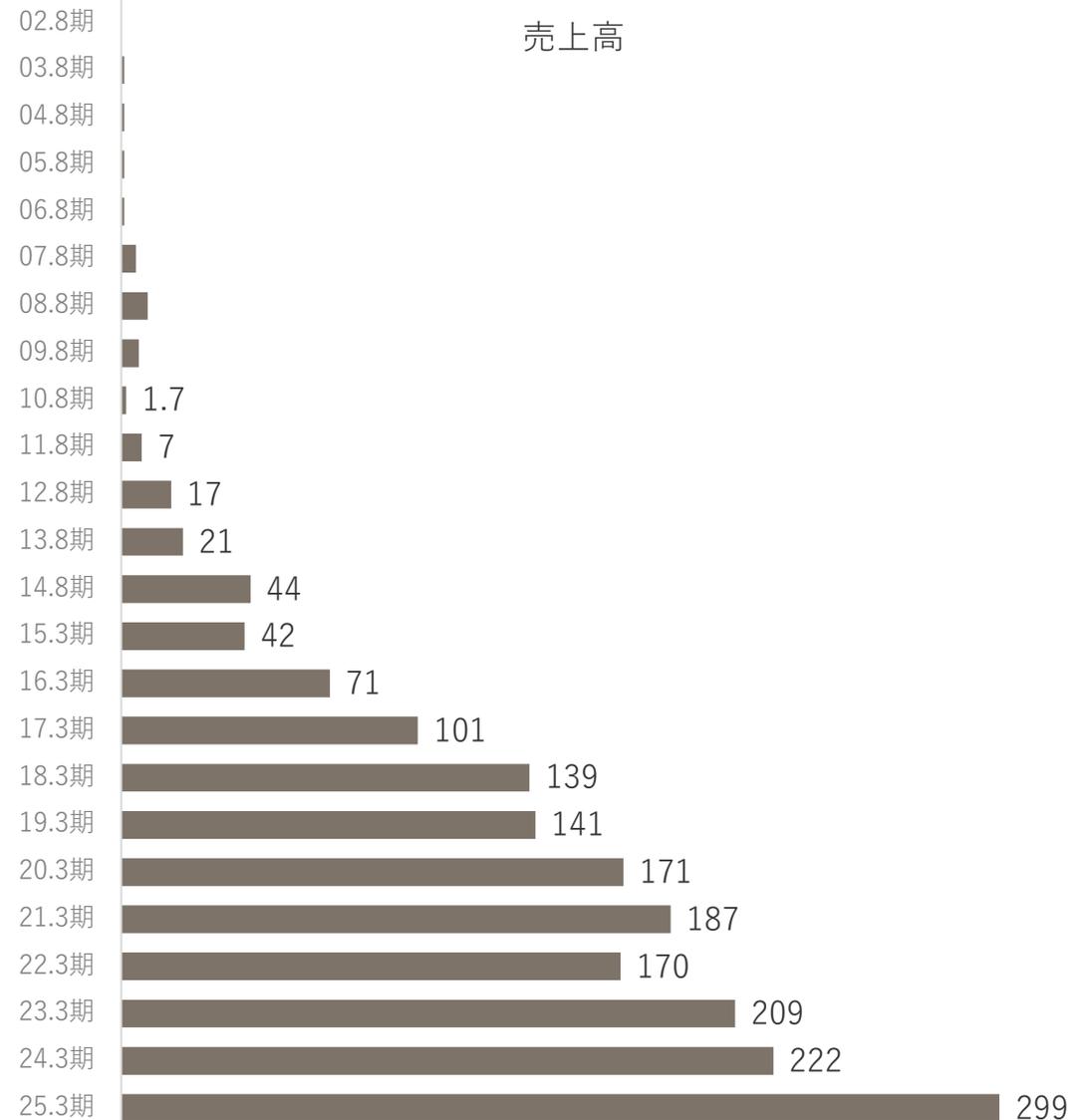
### ROE・ROA



※2023年4月1日付で1株につき2株の株式分割を行っており、EPS・BPSの数値は当該分割を遡及計算しています  
 ※2024年3Q決算より連結決算となっておりますので、2024年3月期以降は連結の数値を記載しています

## 沿革

2001年	10月	主に不動産投資コンサルティング事業を目的として有限会社フェイスネットワークを設立
2002年	3月	宅地建物取引業免許（東京都知事(1)第80509号）を取得
2003年	12月	新築一棟マンションの自社ブランドである「GranDuo」シリーズを販売開始
2006年	5月	株式会社フェイスネットワークに商号変更 建設業許可（東京都知事許可 第128202号）を取得
2007年	6月	一級建築士事務所登録
2010年	12月	特定建設業許可（東京都知事許可（特-22）第135866号）を取得
2011年	11月	「世田谷に利回り7%以上の新築一棟RCマンションを持つとう！」発売
2014年	12月	賃貸仲介店舗「3区miraie」を開設
2017年	5月	中古一棟ビルリノベーションの自社ブランドである「GrandStory」シリーズを販売開始
2018年	3月	東京証券取引所マザーズ市場へ上場
2018年	5月	賃貸住宅管理業登録（国土交通大臣（1）第4858号）
2018年	9月	不動産特定共同事業許可（東京都知事許可 第111号）を取得
2018年	10月	アセットマネジメント事業を目的としてグランファンディング株式会社（現：FAITHアセットマネジメント株式会社）を設立
2020年	4月	資金調達及び企業認知度向上を目的としてFaithファズ合同会社を設立
2021年	2月	東京証券取引所市場第一部へ市場変更
2022年	4月	東京証券取引所の市場再編に伴いプライム市場へ移行
2023年	7月	建築工事の設計・施工を行う株式会社岩本組を100%子会社化
2023年	10月	東京証券取引所スタンダード市場へ市場変更
2024年	10月	「GranDuo」シリーズ5物件が2024年度グッドデザイン賞を受賞
2025年	2月	高級賃貸レジデンス「THE GRANDUO」シリーズを販売開始



※15.3期は決算期変更のため7か月決算 ※24.3期から連結決算

## FAITH NETWORK

フェイスネットワークのフェイスは英語で「Faith」  
つまり「信頼」を意味しています  
「信頼のネットワーク」が社名の由来です

代表取締役社長 蜂谷 二郎 Jiro Hachiya

- ・金融機関出身の起業家
- ・顧客との絆、高いリピート率

2001年の会社設立以来、「オーナー保護」を原点に利他の精神で構築する  
顧客との強い信頼関係が、高いリピート率と新規顧客紹介につながる



## 【 ご注意事項 】

本資料は、株式会社フェイスネットワークが作成したものです。

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において

入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており

その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。